

# 性的マイノリティ当事者等に対する 意識実態調査

## 報告書

令和2年3月



江東区

## 目 次

|     |                          |    |
|-----|--------------------------|----|
| I   | 調査の概要                    | 1  |
| 1   | 調査の背景・課題                 | 1  |
| 2   | 調査の目的                    | 1  |
| 3   | 調査方法                     | 1  |
| 4   | 調査観点                     | 2  |
| 5   | 調査設計                     | 2  |
| 6   | 調査期間                     | 3  |
| 7   | 回収状況と数値補正                | 3  |
| 8   | セクシュアリティの定義              | 4  |
| 9   | スクリーニング調査の設問             | 5  |
| 10  | スクリーニング調査結果              | 6  |
| II  | 調査結果                     | 7  |
| 1   | LGBT関連用語の理解              | 7  |
| (1) | LGBT関連用語の名称認知率           | 7  |
| (2) | LGBT関連用語の内容理解率           | 8  |
| 2   | 否定的な言動に対する意識             | 9  |
| (1) | 否定的な言動に関する経験             | 9  |
| (2) | 否定的な言動に対する差別意識           | 10 |
| (3) | 否定的な言動に対する差別意識（意識差の比較）   | 11 |
| 3   | カミングアウト（公表）の実態           | 12 |
| (1) | 存在の認知                    | 12 |
| (2) | カミングアウト（公表）の実態           | 13 |
| (3) | 各セクシュアリティ別のカミングアウト（公表）意向 | 14 |
| (4) | カミングアウト（公表）したくない理由       | 16 |
| 4   | LGBT層の困難な経験              | 18 |
| (1) | 困難な経験                    | 18 |
| (2) | 子ども時代の困難な経験と困難度          | 19 |
| (3) | 大人になってからの困難な経験と困難度       | 20 |
| (4) | 性同一性視点での課題               | 21 |
| (5) | 性的指向視点での課題               | 22 |
| (6) | 周囲に理解してほしいこと             | 23 |
| 5   | 非LGBT層のLGBT層への理解度        | 27 |
| 6   | 施策の必要性                   | 28 |
| (1) | 施策実施に対する認識実態             | 28 |
| (2) | 学校・教育現場での施策の必要性          | 29 |
| (3) | 職場での施策の必要性               | 30 |
| (4) | 自治体での施策の必要性              | 31 |

|      |                                |    |
|------|--------------------------------|----|
| Ⅲ    | 調査結果のまとめと今後の課題                 | 32 |
| 1    | L G B T 関連用語の理解について            | 32 |
| 2    | 否定的な言動に対する意識について               | 32 |
| 3    | カミングアウト（公表）について                | 32 |
| 4    | L G B T 層の困難な経験について            | 32 |
| 5    | 非 L G B T 層の L G B T 層への理解について | 33 |
| 6    | 施策の必要性について                     | 33 |
| 【資料】 |                                | 35 |
| 1    | 江東区男女共同参画審議会専門部会設置要領           | 35 |
| 2    | 江東区男女共同参画審議会専門部会委員名簿           | 36 |
| 3    | 属性                             | 37 |
| 4    | 調査票                            | 41 |

# I 調査の概要

## 1 調査の背景・課題

江東区では平成 28 年 3 月に策定した「江東区男女共同参画 KOTO プラン」に性的マイノリティについての意識啓発を新たに施策として掲げ、一人ひとりの多様な生き方が尊重され、誰もがその個性と能力を十分に発揮していく社会の実現を目指しています。

一方、他自治体では、性的指向・性同一性(性自認)に関する条例の制定やパートナーシップ制度の導入、専門相談窓口の設置などの取組みが始まっており、江東区としても性的マイノリティの方々への施策を具体的に検討する必要性が高まっています。

## 2 調査の目的

この調査は、「江東区男女共同参画 KOTO プラン」改定へ向け、性的マイノリティの方々が直面する困難な状況や求める配慮・要望を、可能な限り定量的に把握し、今後の施策のあり方を検討するための基礎資料として活用することを目的としています。

## 3 調査方法

### (1) 調査手法

インターネット調査

### (2) 調査抽出フレーム

調査会社に登録しているインターネット調査モニターに対し、令和元年5月に(株)LGBT総合研究所が実施した大規模スクリーニング調査(LGBT意識行動調査 2019・事前調査)の結果より調査対象者を抽出しています(5、6 ページ参照)。

※スクリーニング調査とは、特定の条件に当てはまる調査対象者を抽出するために、調査実施に先駆けて行う事前調査のことを指します。

### (3) 配信エリア

関東圏: 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

関西圏: 大阪府、京都府、奈良県、兵庫県

※LGBT 層は出現率が低く、調査対象者を江東区又は東京都のみに限定した場合、統計的に有効なサンプル数(回答者数)を確保できないため、一都三県、二府二県を配信エリアとして設定しています。

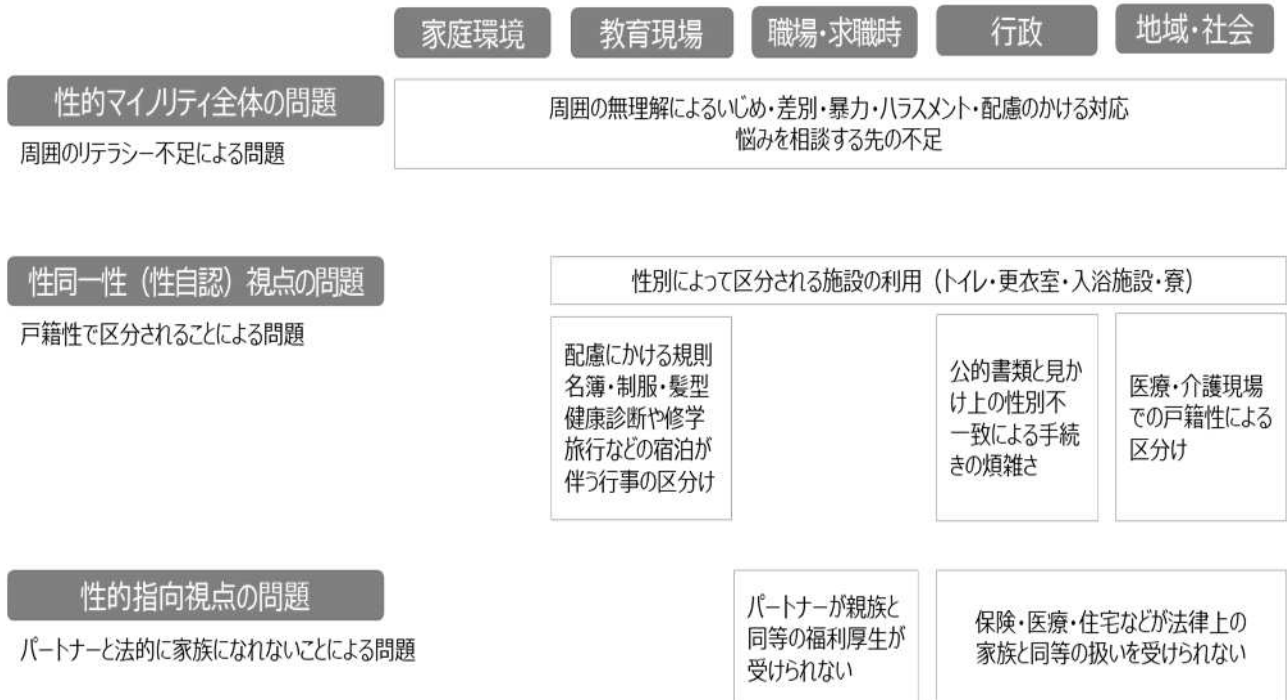
### (4) 対象者条件

20～69歳の上記(3)の地域に在住している方

## 4 調査観点

- 各シーンごとの困難について、性的マイノリティの過去と現在の経験や現状実態を把握し、今後の対応の方向性を整理する。
- 社会生活における性的マイノリティの要望を把握し、今後の対応や施策の優先度を整理する。
- 当事者と非当事者の差別的言動に関する経験や意識の差異を比較し、行動指針の策定や啓発活動時の基礎資料とする。

### Step1 各シーンでの困難を整理



Step2 各シーンをハード面（設備）ソフト面（啓発活動や制度導入）で施策検討

## 5 調査設計

### （1）設問数

21問

### （2）サンプル設計

|           |        |
|-----------|--------|
| 非LGBT層    | 250人   |
| トランスジェンダー | 250人   |
| 同性愛者      | 250人   |
| 両性愛者      | 250人   |
| 合計        | 1,000人 |

## 6 調査期間

令和2年2月14日(金)～令和2年2月19日(水)

## 7 回収状況と数値補正

### (1) 数値補正について

統計処理が可能な数を確保するため、5(2)のとおり、セクシュアリティごとに250件の回答者数を確保できるよう、年代別、戸籍の性別で均等に回収し、人口構成比に合わせて数値補正を行っています。

その方法は、まず、令和元年5月にLGBT総合研究所が実施した大規模スクリーニング調査の結果(6ページ参照)を平成27年国勢調査(総務省統計局)に基づき、戸籍性の年代構成比で数値を補正し、性同一性/性的指向の人口構成比を算出しています。次に、その人口構成比に基づき、各対象内(非LGBT層、トランスジェンダー、同性愛者、両性愛者)の数値を補正しています。

### (2) 数値補正前 実回収数

|           | 男性  |     |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |     | 合計    |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|           | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 男性計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 女性計 |       |
| 非LGBT層    | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 260   |
| トランスジェンダー | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 260   |
| 同性愛       | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 26  | 26  | 33  | 26  | 18  | 129 | 259   |
| 両性愛       | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 130 | 260   |
| 合計        | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 520 | 104 | 104 | 111 | 104 | 96  | 519 | 1,039 |

### (3) 数値補正後 サンプル数

|           | 男性  |     |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |     | 合計   |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
|           | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 男性計 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 女性計 |      |
| 非LGBT層    | 21  | 27  | 33  | 25  | 27  | 132 | 20  | 26  | 31  | 24  | 27  | 128 | 260  |
| トランスジェンダー | 36  | 35  | 41  | 28  | 22  | 162 | 19  | 14  | 22  | 16  | 17  | 88  | 249  |
| 同性愛       | 26  | 28  | 24  | 14  | 11  | 104 | 9   | 8   | 8   | 5   | 9   | 39  | 142  |
| 両性愛       | 40  | 33  | 30  | 17  | 19  | 139 | 67  | 48  | 47  | 37  | 50  | 249 | 388  |
| 合計        | 122 | 123 | 128 | 83  | 80  | 536 | 115 | 95  | 108 | 82  | 103 | 503 | 1039 |

## 8 セクシュアリティの定義

本調査報告書で使用する用語の定義は以下のとおりとします。

### (1) 性的指向

恋愛感情又は性的感情の対象となる性別についての指向をいう

### (2) 性同一性

自己の属する性別についての認識に関する性同一性の有無又は程度に係る意識をいう

### (3) 性自認

自己の属する性別についての認識

### (4) 性同一性(性自認)に関する区分

#### ① シスジェンダー

出生時の指定性別に対し、同一の性別で生活したいと回答した人

#### ② トランスジェンダー

出生時の指定性別に対し、異なる性別(男性・女性)で生活したいと回答した人

#### ③ Xジェンダー

出生時の指定性別に対し、異なる性別で、「中性」「両性」「無性」「不定性」のいずれかで生活したいと回答した人

#### ④ クエスチョニング

出生時の指定性別に対し、どの性別で生活したいか「わからない」と回答した人

### (5) 性的指向に関する区分

#### ① 異性愛者

性的指向において、異性が好きと回答した人

#### ② 同性愛者

性的指向において、同性が好きと回答した人

#### ③ 両性愛者

性的指向において、両性が好きと回答した人

#### ④ クエスチョニング

性的指向において、「わからない」と回答した人

### (6) その他

#### ① LGBT層

上記の定義に基づき、同性愛者・両性愛者・トランスジェンダーに該当する人

#### ② 非LGBT層

上記の定義に基づき、シスジェンダーかつ異性愛者に該当する人

#### ③ LGBT・性的少数者

上記の定義に基づき、シスジェンダーかつ異性愛者以外の人

## 9 スクリーニング調査の設問

1ページ3(2)に記載した、特定の条件にあてはまる調査対象者を抽出するためのスクリーニング調査は、以下の設問内容で実施しています。

あなたが出生時に指定された性別(戸籍上の性別)はどちらですか。あてはまるものを、ひとつだけ、お答えください。

1. 男性
2. 女性
3. 分からない
4. 答えたくない

前問でお答えになった戸籍上の性別に関わらず、あなたは、どの性別で、生活したい(もしくは生活している)ですか。あてはまるものを、ひとつだけ、お答えください。

1. 男性
2. 女性
3. 中性(男性、女性の間)
4. 両性(男性、女性の両方)
5. 無性(男性、女性、中性、両性ではなく性がない)
6. 不定性(時により変化する)
7. 分からない
8. 答えたくない

あなたが望む恋愛や性愛の対象・性的指向(好きになる性別)について、あてはまるものを、ひとつだけ、お答えください。

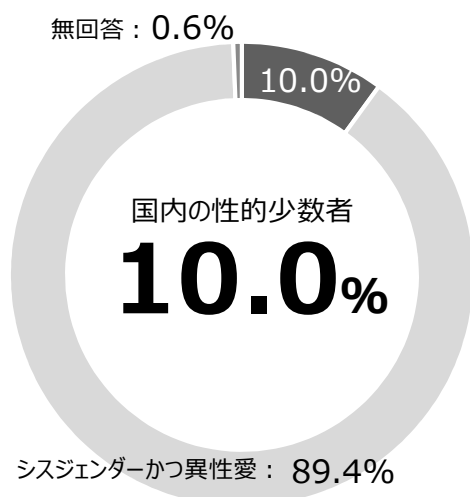
1. 異性が好き
2. 同性が好き
3. 両性(男性・女性ともに好き)
4. 異性、同性ともに好きではない
5. 分からない
6. 上記には該当しない
7. 答えたくない



## 10 スクリーニング調査結果

3ページ7(1)に記載した数値補正を行うための人口構成比は、下記の調査結果より算出しています。

### 国内 LGBT・性的少数者 全体出現率



調査方法：インターネット調査

抽出母体：調査会社に登録しているインターネット調査モニター

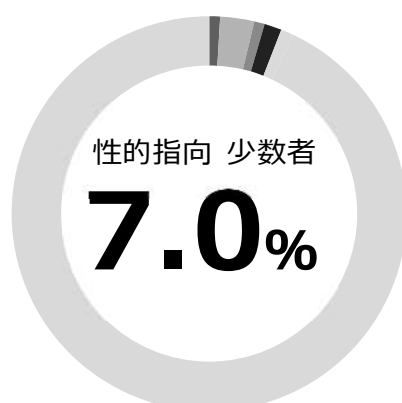
調査対象：20～69 歳の個人

調査配信数：428,036 名

有効回答数：347,816 名

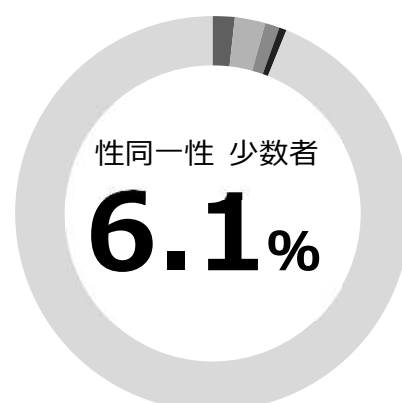
調査対象エリア：全国

調査実施期間：2019 年 4 月 16 日～5 月 17 日



### 性的指向区分 | Sexual Orientation

|               |          |       |   |      |
|---------------|----------|-------|---|------|
| Hetero Sexual | 異性愛      | 93.0% | } | 7.0% |
| Homo Sexual   | 同性愛      | 0.9%  |   |      |
| Bi Sexual     | 両性愛      | 2.8%  |   |      |
| A Sexual      | 無性愛      | 0.9%  |   |      |
| S.O. Question | クエスチョニング | 1.4%  |   |      |
| Other         | その他      | 1.0%  |   |      |



### 性同一性(性自認)区分 | Gender Identity

|               |           |       |   |      |
|---------------|-----------|-------|---|------|
| Cisgender     | シスジェンダー   | 93.9% | } | 6.1% |
| Transgender   | トランスジェンダー | 1.8%  |   |      |
| X gender      | Xジェンダー    | 2.5%  |   |      |
| G.I. Question | クエスチョニング  | 1.2%  |   |      |
| Other         | その他       | 0.6%  |   |      |

## Ⅱ 調査結果

### 1 LGBT関連用語の理解

#### (1) LGBT関連用語の名称認知率

用語の名称認知率(「言葉を知っていて、内容も理解している」、「言葉を知っているが、内容は理解していない」と回答した方の合計割合)をみると、Sexual Orientation (性的指向)& Gender Identity(性同一性)の頭字語である「SOGI」や、英語で「同盟」や「味方」を意味する Alliance を語源とし、LGBTを理解・支援する非LGBTの人を指す言葉としてつくられた「アライ」の認知率は、LGBT層であっても30%を下回り、言葉として浸透していない結果です。

Gender Identity の邦訳に関する用語の名称認知として、全体では「性自認」は29.0%、「性同一性」は93.5%と「性同一性」の方が高い状況が明らかになっています。

Q6: あなたは下記についてそれぞれの程度ご存じですか。あてはまるものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

名称認知率: 「言葉を知っていて、内容も理解している」、「言葉を知っているが、内容は理解していない」と回答した方の合計割合

|                | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|----------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| LGBT (LGBTQなど) | 82.0            | 67.4                                | 87.9                           | 82.2                           | 82.2                             |
| セクシュアリティ       | 56.1            | 46.7                                | 75.3                           | 68.2                           | 55.8                             |
| SOGI           | 7.0             | 13.6                                | 24.2                           | 16.6                           | 6.4                              |
| 性的指向           | 65.2            | 55.9                                | 77.0                           | 72.1                           | 65.1                             |
| 性自認            | 29.0            | 30.3                                | 61.7                           | 50.8                           | 27.9                             |
| 性同一性           | 93.5            | 87.3                                | 92.7                           | 93.7                           | 93.6                             |
| シスジェンダー        | 13.0            | 16.5                                | 35.2                           | 25.9                           | 12.3                             |
| トランスジェンダー      | 81.4            | 66.4                                | 85.7                           | 84.9                           | 81.5                             |
| Xジェンダー         | 30.5            | 29.9                                | 54.2                           | 44.2                           | 29.8                             |
| ヘテロセクシュアル      | 16.4            | 16.6                                | 55.1                           | 39.5                           | 15.3                             |
| ホモセクシュアル       | 90.3            | 79.3                                | 90.9                           | 93.2                           | 90.4                             |
| バイセクシュアル       | 91.0            | 77.6                                | 89.2                           | 86.2                           | 91.4                             |
| Aセクシュアル        | 9.7             | 15.6                                | 36.3                           | 29.9                           | 8.6                              |
| トランスセクシュアル     | 29.7            | 28.0                                | 55.1                           | 50.4                           | 28.9                             |
| アライ            | 5.3             | 11.6                                | 25.9                           | 17.2                           | 4.5                              |

## (2) LGBT関連用語の内容理解率

用語の内容理解率(「言葉を知っていて、内容も理解している」と回答した方の割合)をみると、同性愛者は他の層に比べ高い傾向にあります。一方、トランスジェンダーについては非LGBT層より低い傾向にあります。

LGBTの知識としての基本的な用語である、「セクシュアリティ」、「性的指向」、「性自認」の内容理解率は、全体でみると50%を下回る結果となり、非LGBT層に限らず、基礎知識の向上は今後の課題と考えられます。

Q6: あなたは下記についてそれぞれの程度ご存じですか。あてはまるものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

内容理解率: 「言葉を知っていて、内容も理解している」と回答した方の割合

|                | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|----------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| LGBT (LGBTQなど) | 55.8            | 42.5                                | 72.9                           | 62.7                           | 55.6                             |
| セクシュアリティ       | 24.0            | 17.3                                | 55.8                           | 40.1                           | 23.3                             |
| SOGI           | 2.6             | 3.8                                 | 8.8                            | 7.5                            | 2.3                              |
| 性的指向           | 35.6            | 22.9                                | 63.4                           | 50.1                           | 35.1                             |
| 性自認            | 16.9            | 16.5                                | 49.7                           | 37.3                           | 15.9                             |
| 性同一性           | 66.1            | 57.8                                | 73.6                           | 71.2                           | 66.0                             |
| シスジェンダー        | 5.5             | 6.5                                 | 17.6                           | 11.0                           | 5.1                              |
| トランスジェンダー      | 42.2            | 28.7                                | 62.1                           | 57.0                           | 41.8                             |
| Xジェンダー         | 11.2            | 9.9                                 | 28.6                           | 25.4                           | 10.6                             |
| ヘテロセクシュアル      | 8.3             | 6.1                                 | 38.7                           | 22.8                           | 7.6                              |
| ホモセクシュアル       | 65.4            | 50.7                                | 78.3                           | 74.1                           | 65.3                             |
| バイセクシュアル       | 63.9            | 45.5                                | 77.6                           | 69.8                           | 64.0                             |
| Aセクシュアル        | 4.7             | 5.6                                 | 22.9                           | 19.3                           | 4.0                              |
| トランスセクシュアル     | 11.2            | 10.9                                | 31.8                           | 29.4                           | 10.5                             |
| アライ            | 2.6             | 4.4                                 | 17.6                           | 11.3                           | 2.1                              |

## 2 否定的な言動に対する意識

### (1) 否定的な言動に関する経験

否定的な言動に関する経験では、他人に対する呼称において、性差を明確にする用語の使用経験が比較的高く、他者のプライバシーに関して立ち入る言動の経験は低い傾向にあります。

また、セクシュアリティごとに比較すると、トランスジェンダーで「上記の行動はしたことがない」と回答した割合は 54.9% となり、他のセクシュアリティより高く、否定的な言動を行った経験が他のセクシュアリティに比べ少ないと言えます。

同性愛者の言動経験としては、「自分は“普通”“ノーマル”と相手に告げること」と回答した割合が 16.9% で、非LGBT層の 8.6% より高いことが特徴的です。

Q14: あなたは、次に挙げる言葉遣いや行動をしたことはありますか。 あてはまるものをすべてお答えください。(複数回答)

集計対象: 全体 (単位: %)

|                                     | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|-------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 男性を「くん」づけ、女性を「さん」づけで呼ぶこと            | 49.0            | 23.7                                | 41.2                           | 41.8                           | 49.8                             |
| 結婚している男性を「旦那様」、女性を「奥様」と呼ぶこと         | 30.0            | 9.3                                 | 20.5                           | 26.3                           | 30.6                             |
| 女性同性愛者を「レズ」と呼ぶこと                    | 29.9            | 14.3                                | 24.7                           | 21.9                           | 30.4                             |
| 男性同性愛者を「ホモ」「おかま」と呼ぶこと               | 28.4            | 14.6                                | 23.4                           | 17.9                           | 29.0                             |
| 男性同性愛者を「オネエ」と呼ぶこと                   | 22.3            | 11.5                                | 17.0                           | 19.3                           | 22.6                             |
| 男らしさ・女らしさを求めること                     | 20.1            | 11.2                                | 12.5                           | 16.6                           | 20.4                             |
| 「結婚しないのか」と聞くこと                      | 12.2            | 7.0                                 | 11.7                           | 6.5                            | 12.5                             |
| 自分は「普通」「ノーマル」と相手に告げること              | 8.7             | 7.5                                 | 16.9                           | 8.1                            | 8.6                              |
| 相手の性別を確認するとき「女性ですか」「男性ですか」と二択で聞くこと  | 7.9             | 0.9                                 | 9.8                            | 8.0                            | 8.1                              |
| 他人の性のあり方を、詮索したり、噂話したりすること           | 3.8             | 1.7                                 | 8.0                            | 5.3                            | 3.8                              |
| LGBT・性的少数者を「おとこおんな」「おんなおとこ」と呼ぶこと    | 2.4             | 3.3                                 | 3.3                            | 0.9                            | 2.4                              |
| 忘年会や飲み会などの宴席で、同性同士のキスなどを笑いやネタにすること  | 2.0             | 1.4                                 | 7.3                            | 3.1                            | 1.9                              |
| 他人の性のあり方を、許可なく第三者に暴露すること            | 1.6             | 2.7                                 | 3.7                            | 1.2                            | 1.5                              |
| 他人に性のあり方のカミングアウト(公表)を強要すること         | 1.0             | 2.0                                 | 3.6                            | 1.2                            | 1.0                              |
| トランスジェンダーの方が、望む性別のトイレを利用することを注意すること | 1.0             | 2.7                                 | 1.4                            | 1.1                            | 1.0                              |
| 上記の行動はしたことはない                       | 34.3            | 54.9                                | 28.7                           | 39.1                           | 33.9                             |

※全体の値で降順

## (2) 否定的な言動に対する差別意識

否定的な言動に対する差別意識の「とても差別的だと思う」、「差別的だと思う」と回答した方の合計をセクシュアリティごとに比較すると、プライバシーに立ち入る言動である、「許可なき暴露」や「カミングアウト(公表)の強要」は、全体では、それぞれ 54.8%、51.3%が差別的であると意識しています。

LGBT層の「とても差別的だと思う」、「差別的だと思う」と回答した方の合計が高い項目と、非 LGBT 層の「とても差別的だと思う」、「差別的だと思う」と回答した方の合計が高い項目は、同じ項目(「許可なき暴露」や「カミングアウト(公表)の強要」となっています。

Q15: 次に挙げる言葉遣いや行動、また状態について、あなたは「差別的」だと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

「とても差別的だと思う」、「差別的だと思う」と回答した方の合計割合

|                                       | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|---------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 他人の性のあり方を、許可なく第三者に暴露すること              | 54.8            | 34.5                                | 68.8                           | 59.6                           | 54.9                             |
| 他人に性のあり方のカミングアウト(公表)を強要すること           | 51.3            | 35.2                                | 64.8                           | 51.8                           | 51.5                             |
| LGBT・性的少数者を「おとこおんな」「おんなおとこ」と呼ぶこと      | 46.8            | 32.3                                | 56.0                           | 49.3                           | 46.8                             |
| 他人の性のあり方を、詮索したり、噂話したりすること             | 37.6            | 33.5                                | 45.3                           | 45.4                           | 37.3                             |
| 忘年会や飲み会などの宴席で、同性同士のキスなどを笑いやネタにすること    | 33.4            | 30.6                                | 46.1                           | 38.4                           | 33.1                             |
| 男性同性愛者を「ホモ」「おかま」と呼ぶこと                 | 29.8            | 25.7                                | 48.5                           | 36.7                           | 29.4                             |
| トランスジェンダーの方が望む性別のトイレを利用できないこと         | 23.4            | 24.5                                | 35.2                           | 31.6                           | 23.0                             |
| 「結婚しないのか」と聞くこと                        | 22.3            | 21.6                                | 37.4                           | 34.5                           | 21.8                             |
| 男らしさ・女らしさを求めること                       | 19.9            | 26.6                                | 40.7                           | 38.4                           | 19.0                             |
| 女性同性愛者を「レズ」と呼ぶこと                      | 19.2            | 22.9                                | 34.0                           | 25.9                           | 18.8                             |
| 男性同性愛者を「オネエ」と呼ぶこと                     | 18.2            | 16.4                                | 38.4                           | 29.8                           | 17.7                             |
| 性別記入欄・確認欄で「男性」「女性」の選択肢しかないこと          | 9.4             | 18.8                                | 18.8                           | 19.5                           | 8.8                              |
| 自分は「普通」「ノーマル」と相手に告げること                | 9.0             | 13.7                                | 19.4                           | 17.3                           | 8.6                              |
| 公の場で「奥様」「旦那様」など性差で、相手の呼称を変えること        | 8.1             | 9.2                                 | 20.0                           | 12.0                           | 7.9                              |
| 教育の場で男性に「くん」づけ、女性に「さん」づけするなど、呼称を変えること | 3.8             | 12.6                                | 13.2                           | 9.5                            | 3.4                              |

※全体の値で降順

### (3) 否定的な言動に対する差別意識(意識差の比較)

LGBT層と非LGBT層で数値の差が大きい項目をみると、「男らしさ、女らしさを求めること」が16.0%と最も高く、次いで「性別記入欄・確認欄で“男性”“女性”の選択肢しかないこと」が10.3%、「男性同性愛者を“オネエ”と呼ぶこと」が9.3%と続いています。

「男らしさ、女らしさを求めること」や「性別記入欄・確認欄で“男性”“女性”の選択肢しかないこと」については、これまでの社会で当たり前とされてきた項目であり、また、「男性同性愛者を“オネエ”と呼ぶこと」については、メディアでも使われている言葉であるため、LGBT層に比べ非LGBT層は差別的と捉えていないものと考えられます。

Q15: 次に挙げる言葉遣いや行動、また状態について、あなたは「差別的」だと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

「とても差別的だと思う」、「差別的だと思う」と回答した方の合計割合

|                                       | 全体<br>(N=1,039) | LGBT層<br>補正前 n=799<br>補正後 n=799 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 | 差分<br>(LGBT層-非LGBT層) |
|---------------------------------------|-----------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------|
| 男らしさ・女らしさを求めること                       | 19.9            | 35.1                            | 19.0                             | 16.0                 |
| 性別記入欄・確認欄で「男性」「女性」の選択肢しかないこと          | 9.4             | 19.2                            | 8.8                              | 10.3                 |
| 男性同性愛者を「オネエ」と呼ぶこと                     | 18.2            | 27.1                            | 17.7                             | 9.3                  |
| 「結婚しないのか」と聞くこと                        | 22.3            | 30.9                            | 21.8                             | 9.1                  |
| 自分は「普通」「ノーマル」だと相手に告げること               | 9.0             | 16.5                            | 8.6                              | 7.9                  |
| 教育の場で男性に「くん」づけ、女性に「さん」づけするなど、呼称を変えること | 3.8             | 11.1                            | 3.4                              | 7.8                  |
| 女性同性愛者を「レズ」と呼ぶこと                      | 19.2            | 26.4                            | 18.8                             | 7.6                  |
| トランスジェンダーの方が望む性別のトイレを利用できないこと         | 23.4            | 30.0                            | 23.0                             | 7.0                  |
| 男性同性愛者を「ホモ」「おかま」と呼ぶこと                 | 29.8            | 35.3                            | 29.4                             | 5.9                  |
| 公の場で「奥様」「旦那様」など性差で、相手の呼称を変えること        | 8.1             | 12.6                            | 7.9                              | 4.7                  |
| 他人の性のあり方を、詮索したり、噂話したりすること             | 37.6            | 41.6                            | 37.3                             | 4.2                  |
| 忘年会や飲み会などの宴席で、同性同士のキスなどを笑いやネタにすること    | 33.4            | 37.3                            | 33.1                             | 4.2                  |
| 他人の性のあり方を、許可なく第三者に暴露すること              | 54.8            | 53.2                            | 54.9                             | -1.6                 |
| LGBT・性的少数者を「おとこおんな」「おんなおとこ」と呼ぶこと      | 46.8            | 45.1                            | 46.8                             | -1.8                 |
| 他人に性のあり方のカミングアウト(公表)を強要すること           | 51.3            | 48.9                            | 51.5                             | -2.6                 |

※差分の値で降順

### 3 カミングアウト(公表)の実態

#### (1) 存在の認知

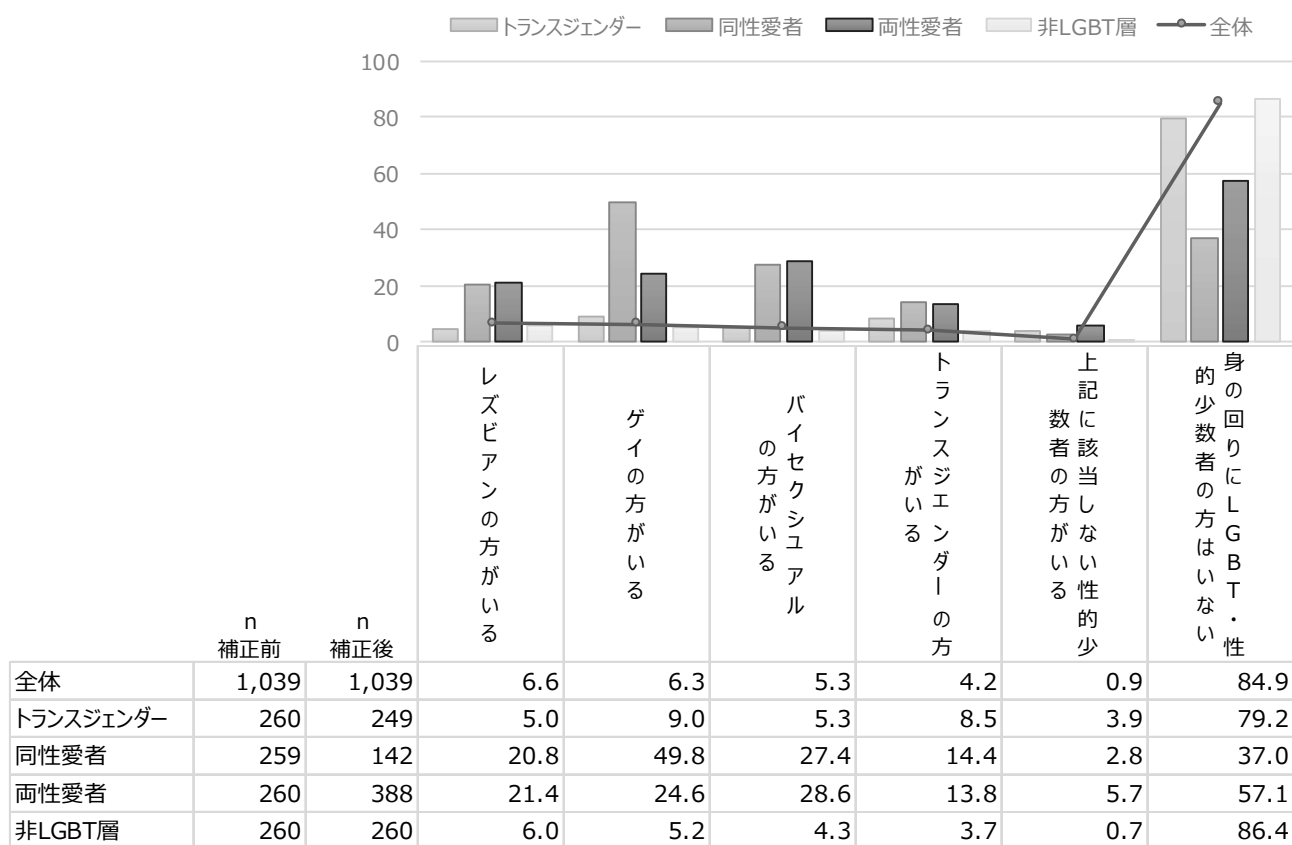
「身の回りに LGBT・性的少数者はいない」と回答した人は、全体で 84.9%です。

非LGBT層では 86.4%となり、存在認知率は LGBT 層より低くなっています。

LGBT層のカミングアウト(公表)率が LGBT 層全体で 30.4%となるため、周囲にいたとしても、認知していない可能性があります。(次ページ参照)

Q7: あなたの身の回りに LGBT・性的少数者の方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてお答えください。(複数回答)

集計対象: 全体(単位: %)



## (2) カミングアウト(公表)の実態

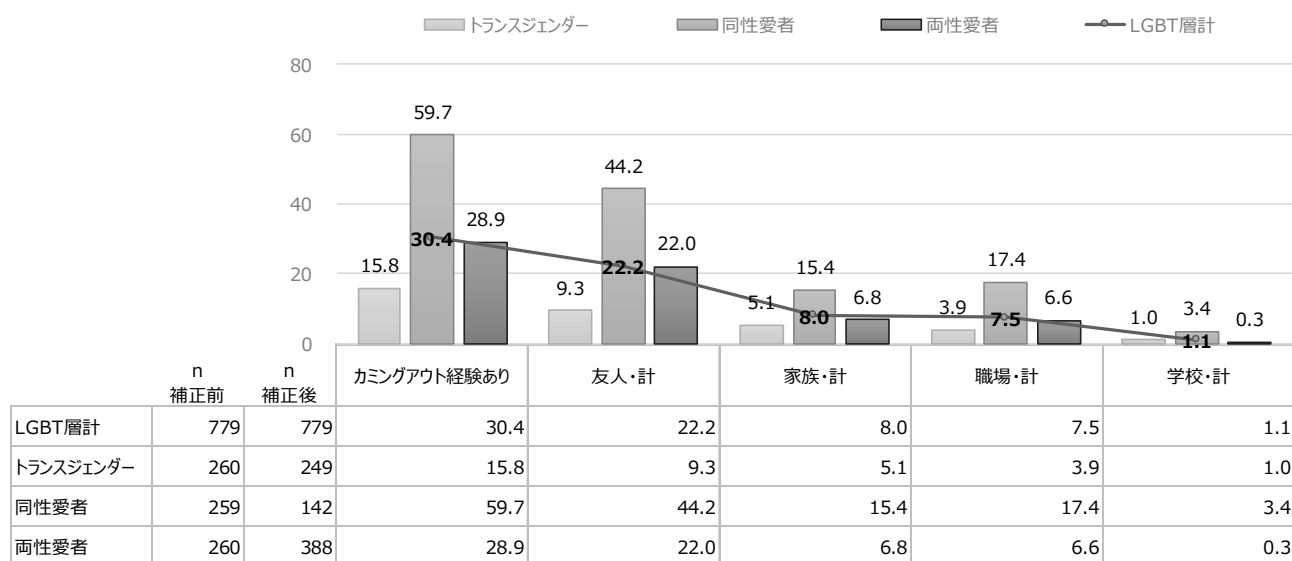
カミングアウト(公表)経験は、LGBT層全体で 30.4% です。

同性愛者のカミングアウト(公表)率は他のセクシュアリティに比べ高く、50%を超えています。

カミングアウト(公表)経験のない層にカミングアウト(公表)意向を 7 段階で聴取したところ、約 50%の方が「まったくカミングアウト(公表)したくない」と回答しています。

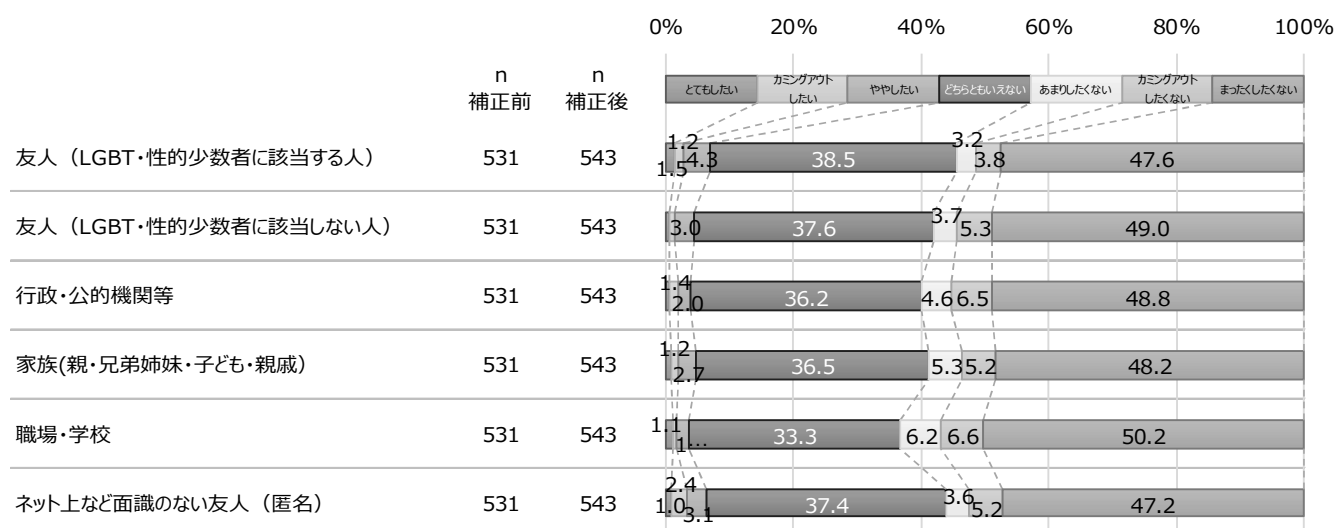
Q11: あなたは、ご自身の好きになる性や出生時と異なる性を生きることを望むことについて、どなたかにカミングアウト(公表)したことはありますか。あてはまるものをすべてお答えください。

集計対象:LGBT層(単位:%)



Q12: 前問で「誰にもカミングアウトしていない」とお答えの方にお伺いいたします。あなたは今後カミングアウトしたいと思いますか。それぞれの項目ごとにお気持ちの近いものをお選びください。

集計対象:「誰にもカミングアウトしていない」と回答した方(単位:%)



※視認性を重視し、1.0%未満は非表示



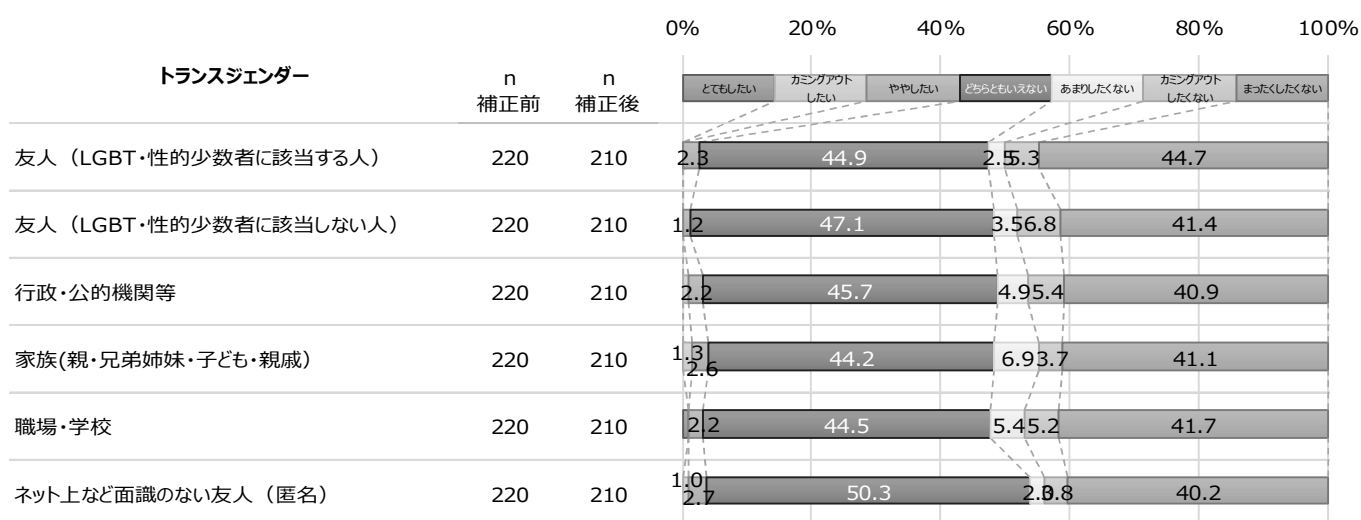
### (3) 各セクシュアリティ別のカミングアウト(公表)意向

トランスジェンダーのカミングアウト(公表)意向は、「とてもカミングアウト(公表)したい」、「カミングアウト(公表)したい」、「ややカミングアウト(公表)したい」と回答した方の合計で 5%未満となり、カミングアウト(公表)意向は、ほぼありません。

同性愛者、両性愛者のカミングアウト(公表)意向は LGBT に該当する友人や、ネット上の友人への意向は 10%程度ありますが、その他の項目でのカミングアウト(公表)意向は、ほぼありません。

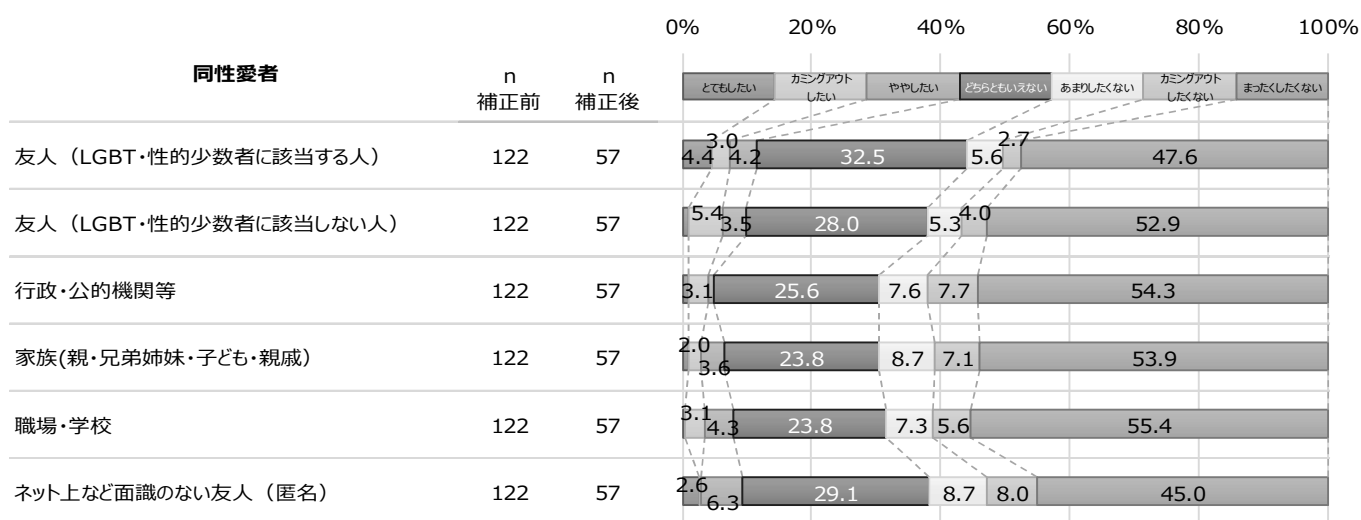
Q12: 前問で「誰にもカミングアウトしていない」とお答えの方にお伺いいたします。あなたは今後カミングアウトしたいと思いますか。それぞれの項目ごとにお気持ちの近いものをお選びください。

集計対象:「誰にもカミングアウトしていない」と回答した方(単位:%)



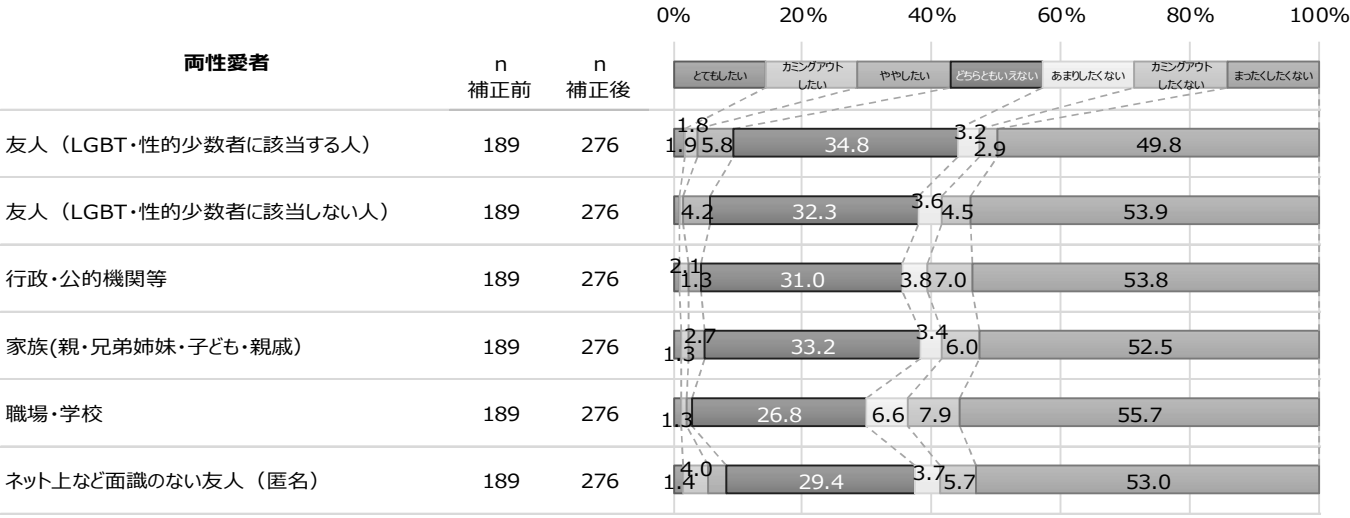
※視認性を重視し、1.0%未満は非表示

集計対象:「誰にもカミングアウトしていない」と回答した方(単位:%)



※視認性を重視し、1.0%未満は非表示

集計対象:「誰にもカミングアウトしていない」と回答した方(単位:%)



※視認性を重視し、1.0%未満は非表示

#### (4) カミングアウト(公表)したくない理由

Q13: 前問で“”カミングアウト(公表)したくない””とお答えの方にお伺いします。カミングアウトしたくない理由をそれぞれの項目ごとにお答えください。(自由記述)

集計対象:「カミングアウト(公表)したくない」と回答した方

##### ① 共通

- ・必要性を感じない・必要ない
- ・理解してもらえないから
- ・偏見がありそう

##### ② 友人(LGBT層)

- ・正しく理解されないから (トランスジェンダー 男性 30 代)
- ・特異な目で見られる (トランスジェンダー 女性 50 代)
- ・誰にもはなしたくない (トランスジェンダー 女性 60 代)
- ・人に広がりそうで怖い (同性愛者 女性 60 代)
- ・馴れ合いみたいにはなりたくない (両性愛者 女性 30 代)
- ・友達でいられないかも (両性愛者 女性 40 代)
- ・普通に暮らしたいので (両性愛者 男性 40 代)
- ・日常生活で不便や苦痛を感じていないので (両性愛者 男性 50 代)
- ・少数者であるため周りにいない (両性愛者 男性 60 代)

##### ③ 友人(非LGBT層)

- ・友人関係を壊したくないため。 (トランスジェンダー 男性 40 代)
- ・相手に負担を強いることになるから。 (トランスジェンダー 男性 40 代)
- ・余計な気を使わせてしまうから (同性愛者 男性 40 代 )
- ・詮索されそう (同性愛者 男性 50 代)
- ・今までの関係が保たれなくなりそう。 (同性愛者 男性 30 代)
- ・理解に乏しいと思うから (両性愛者 男性 30 代)
- ・理解されないか、腫れもの扱いされるのがオチだから。 (両性愛者 男性 20 代)
- ・変な興味を持たれて、変に近付いてきそう。 (両性愛者 男性 20 代 )

##### ④ ネット上(面識なし)

- ・拡散される恐れあり (トランスジェンダー 男性 30 代 )
- ・情報が誤って拡散してしまうから (トランスジェンダー 男性 30 代)
- ・顔を知らないと不安 (トランスジェンダー 女性 60 代)
- ・ネットに自分の事を書き込む事に抵抗があるから。 (同性愛者 女性 40 代)
- ・面識のない人に話すことではない (両性愛者 女性 60 代)
- ・変な先入観でみられると思うから (両性愛者 女性 40 代)
- ・誹謗中傷が怖い (両性愛者 男性 40 代、他多数)
- ・秘密が守られなさそうだから (両性愛者 男性 40 代)

## ⑤ 家族

- ・悲しませるから(トランスジェンダー 女性 20 代)
- ・親に余計な心配をかけたくないため。(トランスジェンダー 男性 40 代)
- ・理解されず叱責されそう (トランスジェンダー 男性 50 代)
- ・不愉快な思いをさせるから(同性愛者 男性 40 代)
- ・非難されるから(同性愛者 男性 30 代)
- ・受け入れてもらえなさそう(同性愛者 男性 30 代 )
- ・理解に乏しいと思うから(両性愛者 男性 30 代)
- ・性的多様性に偏見のある家族がいるから。(両性愛者 女性 20 代)
- ・尊敬と信頼関係を損なうから(両性愛者 男性 60 代)

## ⑥ 職場・学校

- ・淡々と仕事や学業に勤しみたいから (トランスジェンダー 女性 30 代)
- ・出世に関係してきそうだから (トランスジェンダー 男性 20 代)
- ・普通であることが求められるから(同性愛者 女性 20 代)
- ・避けられたり支障がありそうだから(同性愛者 女性 30 代)
- ・差別されて仕事しにくくなるし、下手したら首になる。(同性愛者 女性 40 代)
- ・理解がなさそうで、居づらい。(両性愛者 男性 20 代 )
- ・今の生活を壊したくない(両性愛者 女性 50 代)
- ・偏見の目で見られたくない(両性愛者 女性 40 代 )
- ・噂が広がりある事ない事言われそうだから言いたくない。(両性愛者 女性 30 代)

## ⑦ 行政・公的機関等

- ・理解できるほどの理解者がいないと思う(トランスジェンダー 女性 30 代 )
- ・相談窓口がないから (トランスジェンダー 男性 30 代)
- ・職員に理解されにくいだろうから (トランスジェンダー 女性 30 代)
- ・言ったところでどうにもなりそうにない。(トランスジェンダー 男性 40 代 )
- ・カミングアウトして行政から何かを得られという甘え (トランスジェンダー 女性 50 代)
- ・頼りにならない(同性愛者 女性 60 代)
- ・絶対にどこかから漏れる。生活出来なくなる(同性愛者 女性 40 代)
- ・信用できないから。(同性愛者 女性 20 代)
- ・手間を増やしたくない 面倒くさい(同性愛者 女性 40 代 )
- ・変な目で見られそう。(両性愛者 男性 20 代)
- ・適当なことを言われたくない(両性愛者 女性 50 代)

## 4 LGBT層の困難な経験

### (1) 困難な経験

LGBT層全体でみると、困難経験率は20%程度です。

セクシュアリティごとにみると、同性愛者の困難経験率は、子ども時代が41.7%、大人になってからが42.3%で、トランスジェンダー(子ども時代が14.3%、大人になってからが13.5%)や、両性愛者(子ども時代が18.9%、大人になってからが20.1%)と比べて高い傾向です。

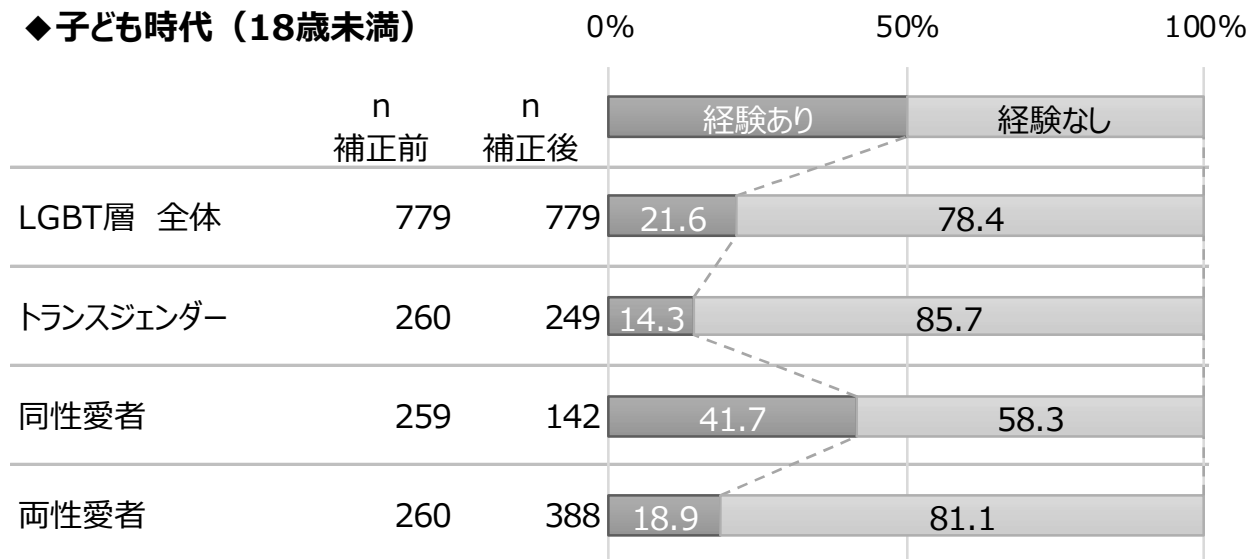
Q8: あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。  
(複数回答)

集計対象:LGBT層(単位:%)

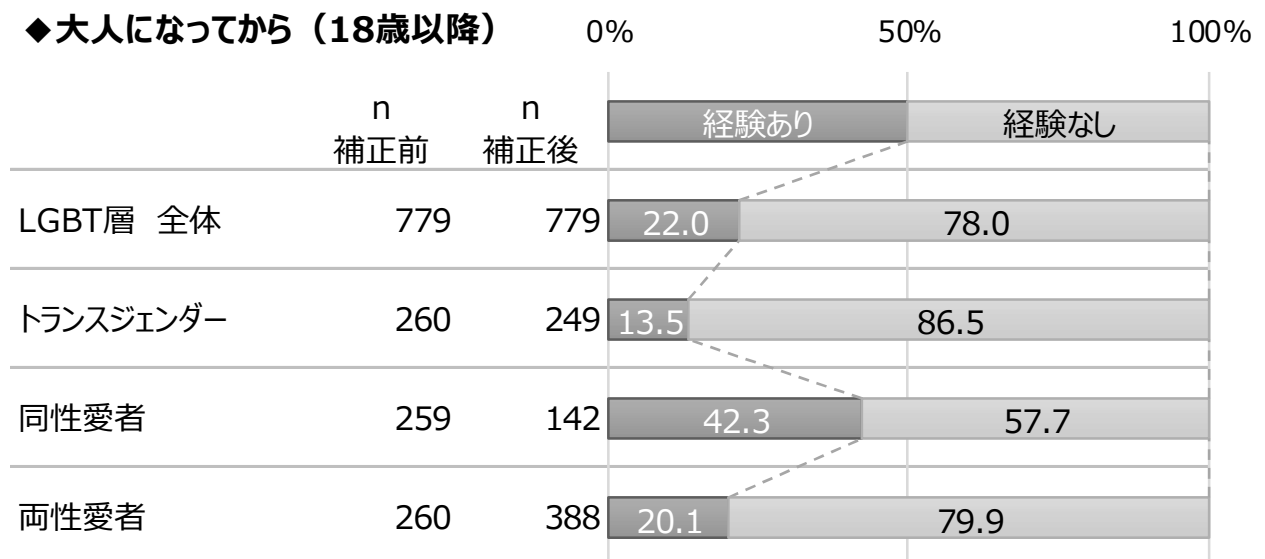
経験あり:「あてはまるものはない」以外いずれかを選択

経験なし:「あてはまるものはない」を選択

#### ◆子ども時代(18歳未満)



#### ◆大人になってから(18歳以降)



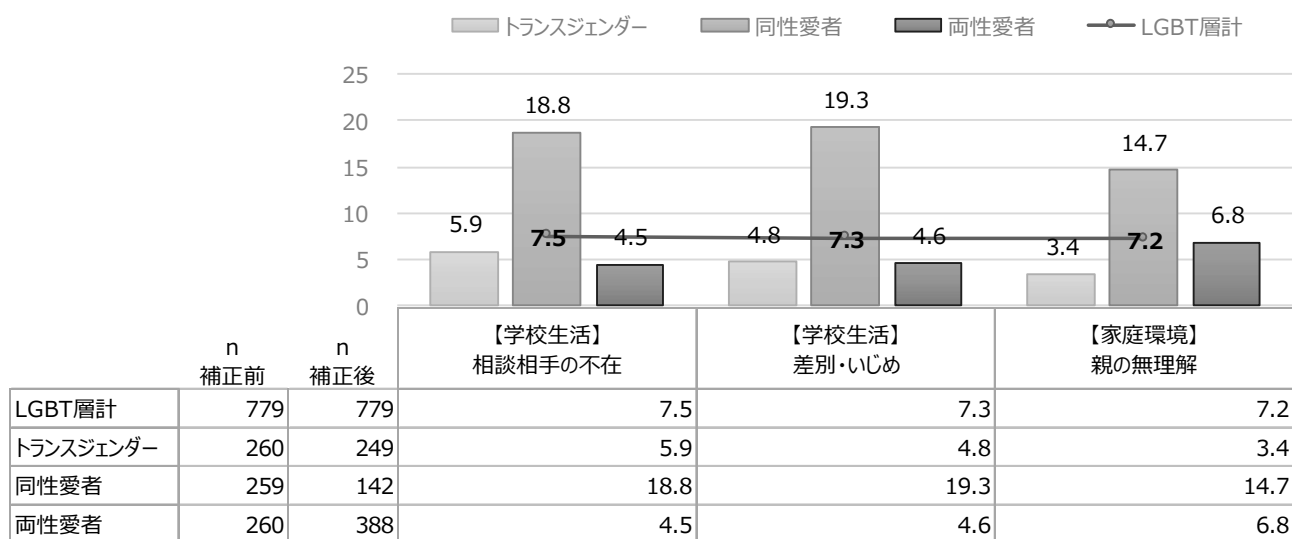
## (2) 子ども時代の困難な経験と困難度

子ども時代に経験したことの上位3位は、LGBT 層の計では「学校生活での相談相手の不在」が 7.5%、「学校生活での差別・いじめ」が 7.3%、「親の無理解」が 7.2%で、周囲の理解不足が起因して起こるものが上位に挙がり、各セクシュアリティともに同様の傾向にあります。

困難度は、「親の無理解」の「とても困難を感じた」が 48.2%となり、他の2項目に比べ困難度が高くなっています。

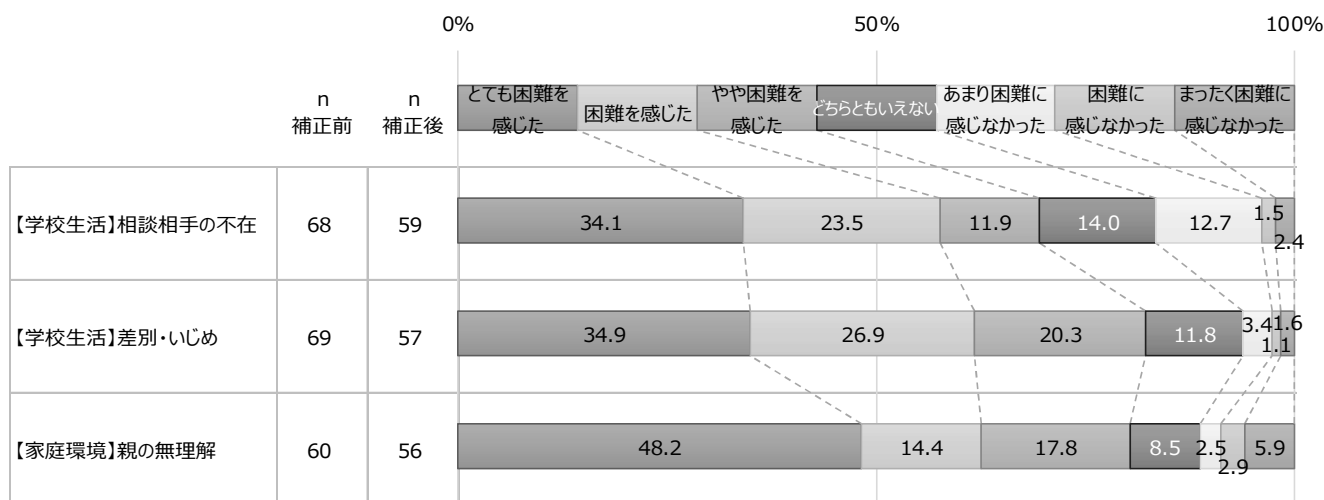
Q8: あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。  
(複数回答)

集計対象:LGBT 層(単位:%)



Q9: 先ほどの設問でお答えになった下記の「子ども時代に経験したこと」についてあなたにとってどの程度困難な経験でしたか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象:LGBT 層のうち困難な経験があると回答した方(単位:%)



※サンプル数僅少のため、困難度は「LGBT 層計」のみ掲載

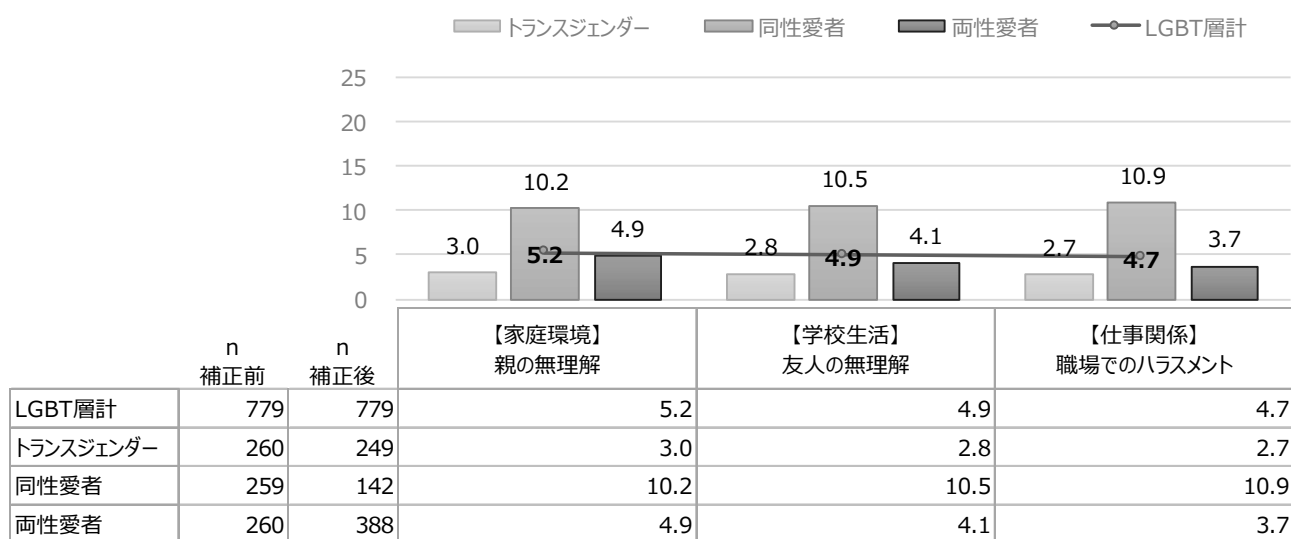
### (3) 大人になってからの困難な経験と困難度

大人になってから経験したことの上位3位は、LGBT 層の計では、「親の無理解」が 5.2%、「友人の無理解」が 4.9%、「職場でのハラスメント」が 4.7%で、子ども時代同様に、周囲の理解不足が起因して起こるものが上位に挙がっています。

困難度は、「親の無理解」の「とても困難を感じた」が 40.9%となり、他の2項目に比べ困難度が高くなっています。

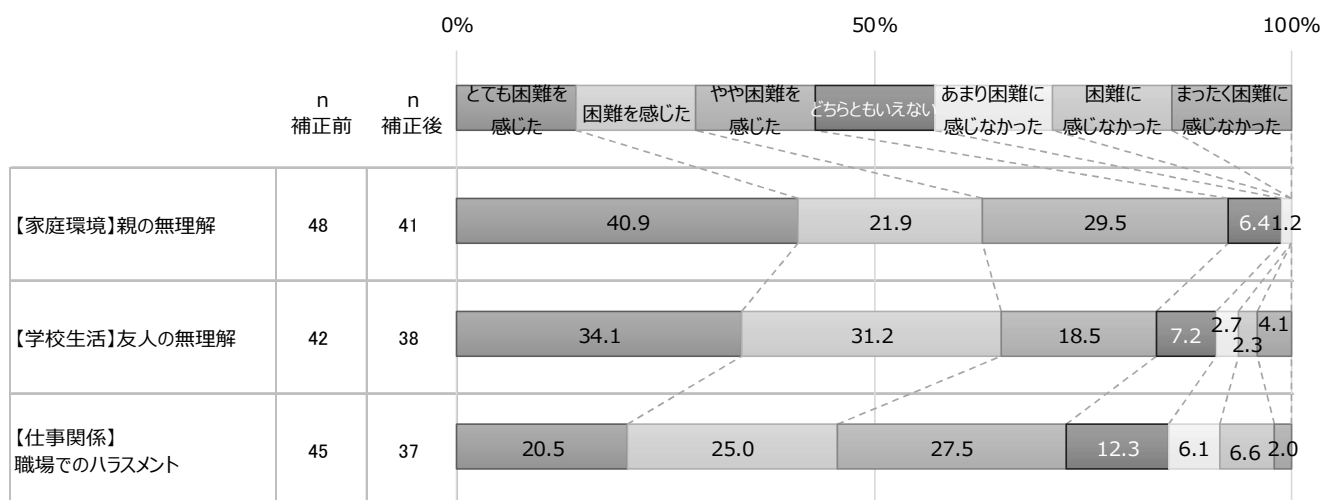
Q8: あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。  
(複数回答)

集計対象:LGBT 層(単位:%)



Q10: 先ほどの設問でお答えになった下記の「大人になってから経験したこと」についてあなたにとってどの程度困難な経験でしたか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象:LGBT 層のうち困難な経験があると回答した方(単位:%)



※回答者数僅少のため、困難度は「LGBT 層計」のみ掲載

#### (4) 性同一性視点での課題

トランスジェンダー特有の課題として「身体の性別で区分されること」により困難が生じると推察し、想定される事案やシーンを提示し、聴取しています。経験率が高いのは「望む性の制服が着られないこと」（子ども時代に学校での経験が3.7%、大人になってから職場での経験が3.4%）です。

困難度については、回答者数が僅少のため参考値ですが、トイレの利用時の困難度は高い傾向にあります。

**Q8：あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。**  
(複数回答)

集計対象：トランスジェンダー(単位：%)

|                 | n<br>補正前 | n<br>補正後 | 【学校生活】<br>トイレや更衣室<br>の利用で望む<br>性で施設を利用<br>できない | 【学校生活】<br>宿泊を伴う行<br>事で望む性で<br>の区分けをして<br>もらえない | 【学校生活】<br>望む性の制服<br>を着ることがで<br>きない | 【仕事関係】<br>トイレや更衣室<br>の利用で望む<br>性で施設を利用<br>できない | 【仕事関係】<br>望む性の制服<br>や服装で就労<br>できない | 【行政関連】<br>公的書類の記<br>載内容と見た<br>目の性の不一致<br>による手続きの<br>煩雑さ | 【行政関連】<br>性別記載欄で<br>選択すべき性<br>に戸惑いを感じ<br>た | 【行政関連】<br>トイレや更衣室<br>の利用で望む<br>性で施設を利用<br>できない | 【行政関連】<br>がん検診クー<br>ポンなどの検診<br>(健診)サー<br>ビスが戸籍性<br>で分けられるこ<br>と |
|-----------------|----------|----------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 子ども時代(18歳未満)    | 260      | 249      | 1.0                                            | 1.0                                            | 3.7                                | -                                              | -                                  | 0.6                                                     | 2.2                                        | 1.2                                            | 2.0                                                             |
| 大人になってから(18歳以降) | 260      | 249      | 2.1                                            | 1.6                                            | 1.3                                | 2.6                                            | 3.4                                | 1.5                                                     | 2.3                                        | 1.9                                            | 0.6                                                             |

**Q9・10：先ほどの設問でお答えになった下記の「子ども時代に経験したこと」、「大人になってから経験したこと」についてあなたにとってどの程度困難な経験でしたか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)**

集計対象：トランスジェンダーのうち困難な経験があると回答した方(単位：%) ※n(有効回答者数)=30 以下は参考値

| 子ども時代                                   | n<br>補正前 | n<br>補正後 | とても困難を感じた | 困難を感じた | やや困難を感じた | どちらともいえない | あまり困難に感じなかった | 困難に感じなかった | まったく困難に感じなかった |
|-----------------------------------------|----------|----------|-----------|--------|----------|-----------|--------------|-----------|---------------|
| 【学校生活】トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない          | 3        | 3        | 42.1      | 0.0    | 24.7     | 33.3      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【学校生活】宿泊を伴う行事で望む性での区分けをしてもらえない          | 2        | 2        | 43.5      | 0.0    | 56.5     | 0.0       | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【学校生活】望む性の制服を着ることができない                  | 11       | 9        | 0.0       | 30.0   | 24.2     | 39.0      | 0.0          | 6.8       | 0.0           |
| 【行政関連】公的書類の記載内容と見た目の性の不一致による手続きの煩雑さ     | 2        | 2        | 0.0       | 100.0  | 0.0      | 0.0       | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】性別記載欄で選択すべき性に戸惑いを感じた              | 5        | 5        | 15.6      | 48.9   | 9.9      | 0.0       | 25.6         | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない          | 3        | 3        | 53.3      | 0.0    | 18.1     | 28.6      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】がん検診クーポンなどの検診(健診)サービスが戸籍性で分けられること | 4        | 5        | 21.9      | 28.4   | 32.3     | 17.3      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 大人になってから                                | n<br>補正前 | n<br>補正後 | とても困難を感じた | 困難を感じた | やや困難を感じた | どちらともいえない | あまり困難に感じなかった | 困難に感じなかった | まったく困難に感じなかった |
| 【学校生活】トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない          | 5        | 5        | 30.7      | 10.4   | 26.0     | 32.9      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【学校生活】宿泊を伴う行事で望む性での区分けをしてもらえない          | 4        | 4        | 65.5      | 13.2   | 0.0      | 0.0       | 0.0          | 21.3      | 0.0           |
| 【学校生活】望む性の制服を着ることができない                  | 3        | 3        | 0.0       | 0.0    | 25.6     | 74.4      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【仕事関係】トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない          | 6        | 6        | 24.4      | 8.3    | 29.7     | 37.6      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【仕事関係】望む性の制服や服装で就労できない                  | 8        | 8        | 34.9      | 19.9   | 6.3      | 38.9      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】公的書類の記載内容と見た目の性の不一致による手続きの煩雑さ     | 4        | 4        | 14.0      | 41.3   | 22.2     | 0.0       | 22.5         | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】性別記載欄で選択すべき性に戸惑いを感じた              | 6        | 6        | 14.8      | 51.6   | 24.2     | 9.3       | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない          | 5        | 5        | 43.3      | 39.3   | 0.0      | 17.4      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |
| 【行政関連】がん検診クーポンなどの検診(健診)サービスが戸籍性で分けられること | 2        | 1        | 0.0       | 38.7   | 0.0      | 61.3      | 0.0          | 0.0       | 0.0           |



## (5) 性的指向視点での課題

同性愛者・両性愛者特有の課題として、「パートナーと法的に家族関係になれないこと」により困難が生じると推察し、想定される事案やシーンを提示し、聴取しています。同性愛者の下記2項目の経験率は5%程度、両性愛者の経験率は1%程度です。

困難度については、回答者数が僅少のため、参考値ですが、同性愛者で「とても困難に感じた」、「困難に感じた」、「やや困難に感じた」と回答した方の合計が2項目とも80%を超えています。

両性愛者については、同性愛者に比べ、2項目とも困難度が低くなっています(0%、18.0%)。

**Q8: あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。**  
(複数回答)

集計対象: 同性愛者及び両性愛者(単位: %)

|                      | n<br>補正前 | n<br>補正後 | 【仕事関係】<br>職場で法的な家族と同様の福利厚生が受けられない | 【地域社会】<br>社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合(保険・医療サービス・住宅) |
|----------------------|----------|----------|-----------------------------------|---------------------------------------------------|
| 同性愛者 大人になってから(18歳以降) | 259      | 142      | 4.8                               | 5.5                                               |
| 両性愛者 大人になってから(18歳以降) | 259      | 142      | 0.3                               | 1.0                                               |

**Q9・10: 先ほどの設問でお答えになった下記の「子ども時代に経験したこと」「大人になってから経験したこと」についてあなたにとってどの程度困難な経験でしたか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)**

集計対象: 同性愛者及び両性愛者のうち困難な経験があると回答した方(単位: %) ※n(有効回答者数)=30 以下は参考値

| 同性愛者                                          | n<br>補正前 | n<br>補正後 | とても困難を感じた | 困難を感じた | やや困難を感じた | どちらともいえない | あまり困難に感じなかった | 困難に感じなかった | まったく困難に感じなかった |
|-----------------------------------------------|----------|----------|-----------|--------|----------|-----------|--------------|-----------|---------------|
| 【仕事関係】職場で法的な家族と同様の福利厚生を受けられない                 | 13       | 7        | 27.7      | 52.4   | 3.4      | 2.9       | 13.6         | 0.0       | 0.0           |
| 【地域社会】社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合(保険・医療サービス・住宅) | 14       | 8        | 26.2      | 51.2   | 8.9      | 0.0       | 13.7         | 0.0       | 0.0           |
| 両性愛者                                          | n<br>補正前 | n<br>補正後 | とても困難を感じた | 困難を感じた | やや困難を感じた | どちらともいえない | あまり困難に感じなかった | 困難に感じなかった | まったく困難に感じなかった |
| 【仕事関係】職場で法的な家族と同様の福利厚生を受けられない                 | 1        | 1        | 0.0       | 0.0    | 0.0      | 0.0       | 100.0        | 0.0       | 0.0           |
| 【地域社会】社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合(保険・医療サービス・住宅) | 4        | 4        | 0.0       | 0.0    | 18.0     | 18.0      | 0.0          | 0.0       | 63.9          |

## (6) 周囲に理解してほしいこと

Q21: ご自身が望む性のあり方で生活するために、周囲に理解してほしいことはありますか？  
ご自由にお答えください。(自由記述)

集計対象:LGBT 層

- ・ あらゆる人種性差別がなくなり、平和と調和を受け入れてほしい。子供のうちから理解を深めさせ当たり前のように接する教育をしてほしい (トランスジェンダー 女性 20 代)
- ・ 服装や髪形について性別に囚われないでほしい。 (トランスジェンダー 男性 20 代)
- ・ 身近な人や友人から打ち明けられた時、なぜ自分にゆってくれたのか、カミングアウトする時の気持ちを察し、親身になって受け入れてあげて欲しい (トランスジェンダー 女性 20 代)
- ・ 支援や施設が整備されても、それらを利用することによって当事者だとカミングアウトすることになるので利用しづらい。 (トランスジェンダー 女性 30 代)
- ・ どんなジャンルにせよ人間は必ず少数派への差別を行うので法律を変えようが罰則を作ろうが差別は絶対になくならない。だからどんな配慮や教育をしても、少数派は 100%快適に暮らす事は出来ない。だから人を人として見れない類の人に理解を求めようとは思わない。差別をしない人には最初から教育も何も必要ない。生まれた時からの親の教育で決まっていると思う (トランスジェンダー 女性 30 代)
- ・ 気軽に相談できるところがわからないので、悩みを打ち明けられずにいる。 (トランスジェンダー 男性 30 代)
- ・ 人は色々であって必ずしも性は 2 つではない。それは個性であると認識してほしい。 (トランスジェンダー 女性 30 代)
- ・ 職業で男性向き女性向き、年齢などで採用制限をしないでほしい。あくまで能力で診て欲しい時がある。 (トランスジェンダー 男性 40 代)
- ・ LGBT は誰かを愛するただの人であること。 (トランスジェンダー 男性 40 代)
- ・ 男女関係なくその人自身の個性を尊厳するような世の中になって欲しい。 (トランスジェンダー 女性 40 代)
- ・ 性の問題だけでなく差別を受けてる人はたくさんいます。差別を受けるのが特別じゃないことであり、世の中は不公平だという現実を知性差別と思っていること自体、差別を受け入れている証拠。差別に屈しない強い人間になることが大切。甘えの世の中になっているのでハラスメントを受けてると泣き言を言ってなんらかの恩賞を期待することはやめてほしい。性で悩む人が現実において、それは全く特別じゃないという考えを持っていること。 (トランスジェンダー 女性 50 代)
- ・ 本人も社会も社会的弱者であるという認識を改める。性のあり方を他者が非難すべきではないが、LGBT 等であるからという理由で、過度な権利を求める一部の活動家の主張、行動はむしろ社会を分断し逆効果であると考えてる。 (トランスジェンダー 女性 50 代)

- ・ 全ての人間は皆平等であると思う。個性は様々、多様であることを、社会全体で認知しなければならない。(トランスジェンダー 女性 60 代)
- ・ 周りの人のすべてに理解をしてもらうのは難しい。年代により、偏見の度合いが違うと思うので。広く全世代に啓蒙が必要。(トランスジェンダー 男性 60 代)
- ・ それぞれの人間性を見つめて欲しい。ただ単なる外見だけの判断で人は理解出来ないと思います。(トランスジェンダー 男性 60 代)
- ・ 性の問題だけでなく、人間がいる以上、人と区別することは本能的に備わった人間の能力でもある。区別の種類の何が優先するのかはそれぞれの環境によって異なる。精神の問題は先進国に多く見受けられる問題だと考える。戦争地域の人たちは生きるか死ぬか、貧しい国の人たちは食えるか、食えないか。生まれつきに身体的障害を抱えている人にとっては、その環境で一人で生きていけるか等、立場によってその見方は異なる。人それぞれ違いがあるということをまず理解することから考えるべきであると思う。(トランスジェンダー 男性 60 代)
- ・ とりあえず活動家の皆さんには過激な言動や行動は謹んでいただきたい。LGBT の理解を深める活動だけしてもらって、訳の分からない政治思想やアイデンティティと結びつけないで欲しい。(同性愛者 男性 20 代)
- ・ LGBT が広まったことにより、以前に比べると理解度が増えたようにも感じる。だが、例えばトランスジェンダーの場合「治療をしていないとトランスではない」という風潮が出来つつあるのが、未治療の身からすると困る部分ではある。また、若い世代に「なんちゃってトランスジェンダー(特に FtM や FtX)」のような人が増えている気もする。「なんちゃって」で治療を始めて後悔している人を SNS などで見かけることが増えた。そういう人を増やさない為にもカウンセリング可能な病院や専門家を増やしてもらえると助かります。私自身は診断書取得済みなのでカウンセリングは必要ないのですが……。あと、治療をする際に保険適用になれば良くも悪くも手術をしやすくなるので国で定めてほしいところもあります。(同性愛者 女性 20 代)
- ・ 性自認、性的指向が少数派であるという些細な違いはあるものの、周りと同じように生活して、同じように恋愛もしていること、またそうしたいと思っていること(同性愛者 男性 20 代)
- ・ 同性愛者である自分は殊更に被差別者として扱われることを望みません。異性愛者と同じように扱ってくれることが「差別のない社会」だと思います。不動産賃貸、ホテル、結婚式場、病院の入院時など、同性愛者が利用出来ないというデマが流れていることは非常に迷惑しており、ほとんどの場所で同性愛者であっても何事もなく対応してくれるということを理解してほしいです。今回のこのアンケートも LGBT と書いていながら、質問内容はトランスジェンダーに関することが多いと感じました。同性愛者とトランスジェンダーは抱えている悩みも問題も全く異なる存在です。性的少数者だからといって LGBT と一纏めにするのではなく、同性愛者には同性愛者への対応、トランスジェンダーにはトランスジェンダーへの対応というものがあると思います。誰に対してこれこれこういう配慮をしているのかをきちんと明確にしてほしいと感じています。一番迷惑なのは、「LGBT への差別はやめろ」と騒ぐだけの人たちです。差別が全く無いとは言いませんが、私たちが望んでいるのは差別はやめろと騒いでくれることではなく、ただ普段通りに扱って欲しいということです。(同性愛者 女性 30 代)
- ・ 性的少数者が左利きや AB 型の人と同じぐらいの割合でいる事を理解するなど、存在が当たり前のことを知ってもらいたい(同性愛者 男性 30 代)

- ・ 本人が自然のまま暮らせるような世の中にはなったら素敵(同性愛者 男性 40 代)
- ・ 本当は、両親に自分が同性愛者であることを理解してほしいが、戦中・戦後生まれで、LGBT についてまったく理解がないので、カミングアウトできないでいる。少しでもいいから LGBT についての知識を得てほしい、理解してほしい。現状では両親が差別的発言をするので、せっかく自治体として同性パートナー制度を実施しているのに、それを利用できないでいる。(同性愛者 男性 40 代)
- ・ 性的指向は嗜好ではないこと、生まれついた性的指向は代えることができないということ。そのため LGBT を認めると少子化につながるという議論はナンセンスだということ。ただありのままに暮らしたいということ。(同性愛者 男性 40 代)
- ・ 今までのまま、そっとしておいてほしい。騒ぎ立てずに・・・(同性愛者 男性 50 代)
- ・ 男女が結婚するのと同じように、同性でもそれが当り前の世の中になってほしい。少しずつ認められるようになってきたが、実際は差別的な発言も多いし待遇も同じ。人を好きになるのに男女もない。ただ、その人が好きなだけ。それを普通の日常として認めて欲しい。(同性愛者 女性 50 代)
- ・ 人それぞれ悩める場所があってもまだ理解が得られない事が多くある。その人の立場で考える。少しでも希望に寄り添える事で少しずつ解決できていくとよい(同性愛者 女性 50 代)
- ・ 同性同士での生活に対しての無理解による偏見や噂話 差別的取扱い 嫌がらせなど無知による少数者への不満のはけ口的な排他的攻撃を無くすためにももっと教育現場で広く教育をしてほしい。(同性愛者 男性 60 代)
- ・ 差別は撤廃されるべきだが、新たな特権グループが発生しては本末転倒。(同性愛者 男性 60 代)
- ・ 人によりさまざまなので、一律に物事を決めたり決められたりすることに息苦しさを感ずるかもしれない。その人が自分で決められるような柔軟性のある対応があれば、それで十分でそっと置いて欲しいと思う人もいると思う。(同性愛者 男性 60 代)
- ・ 自立して生きている人であれば、男でも女でもどっちでも良いと思う。男でも内面的には女、女でも内面的には男の部分をもっている人が大勢いるのではないかと思うので、線引きするのは、管理する側の都合ではと、最近思う。(同性愛者 女性 60 代)
- ・ 内心の詮索はやめてほしい(両性愛者 男性 20 代)
- ・ 基本的に放っておいてほしい。同性愛だからといって、同性の人を見境なく恋愛対象として見ているわけではないということ(男女の恋愛と同じですね)。(両性愛者 男性 20 代)
- ・ ありません。周りに受け入れさせるのではなく、自分が受け入れることが大事(両性愛者 女性 20 代)
- ・ 「自分は差別をしていない」「偏見はない」という人ほど気がつかない内に凝り固まった自分の価値観で人を傷つけていることがあるということを意識して欲しい。過度に気にしすぎるのはどうかと思う。みんな人間であることに変わりはないから、変に意識して接されるのも結構辛いし不快な時もある。(両性愛者 女性 20 代)
- ・ 性とか以前に人として見ることの大切さ。(両性愛者 女性 30 代)
- ・ ド派手な格好でパレードしたり自分達の権利ばかり主張しては被害者面しているのは一部の声が大

きな人達で、その他大勢のサイレントマジョリティは寧ろそっとしていて欲しいと考えるのが普通である事を理解して頂ければ幸いです。(両性愛者 男性 30代)

- ・ どうしてほしいか、どう思うかは個人差があるので、色の好き嫌いと同じくらいフラットに確認してほしい(両性愛者 女性 30代)
- ・ 凝り固まった固定観念を崩すのは難しく、また、目には見えないものなので証明もできない。昨今、逆手にとるような輩も多い。デリケートな問題であるゆえに踏み込みづらかったり、知らず知らずのうちに踏み込んでいたりもする。まだまだ認知度が低いので、こういうものもあって当たり前という風潮にするにはどうするべきかを考えなければならないところだと思う。(両性愛者 女性 30代)
- ・ 多種多様の価値観を認めてあげられればいいのではないかと思います(両性愛者 男性 30代)
- ・ 男らしい、女らしい、男気、女々しい、等という表現をメディアで使わないで欲しい(両性愛者 女性 40代)
- ・ カミングアウトは怖いけれども理解者も増えてきているので皆でいろいろ話ができればもっと近いが得られるかもしれない(両性愛者 女性 40代)
- ・ 世の中の人々の多様化に伴い、社会のシステムや在り方も今まで通りではなく、変わって行かなくてはいけないのだと思うが、急な変化は、混乱を招くと思う。少しずつ対応できるようにしていくべきではあると思う。(両性愛者 女性 50代)
- ・ LGBTQ に対する理解が単なる多様性尊重やダイバーシティなどの一時的なブームとして扱われる危惧を感じる。(両性愛者 男性 50代)
- ・ まず、このようなアンケートが不必要な社会になること。また、このようなアンケートに書かれていることが必要でなくなる社会を(両性愛者 男性 60代)
- ・ そもそも「性」という概念そのものに、拘ったり・触れたりすることなく「人間」としての基本的な関わり合いを大切にできる世界を構築することを目指せる世の中であって欲しい。(両性愛者 男性 60代)
- ・ すべてのことにおいて、人間として、それまでを尊重する気持ちがあれば、生きやすいと思う(両性愛者 女性 60代)

## 5 非LGBT層のLGBT層への理解度

「理解をしている」や「支援をしている」は、「とてもあてはまる」、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した方の合計で 40%弱となるが、「どちらともいえない」の回答が約 40%と多くなっています。

「どう接していいかわからない」、「どのような配慮が必要かわからない」、「何が差別として捉えられるかわからない」の項目について、「とてもあてはまる」、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した方の合計が 50%を超えることから、知識がないために「理解している」、「支援している」の項目で「どちらともいえない」の回答が高くなっているものと推察されます。

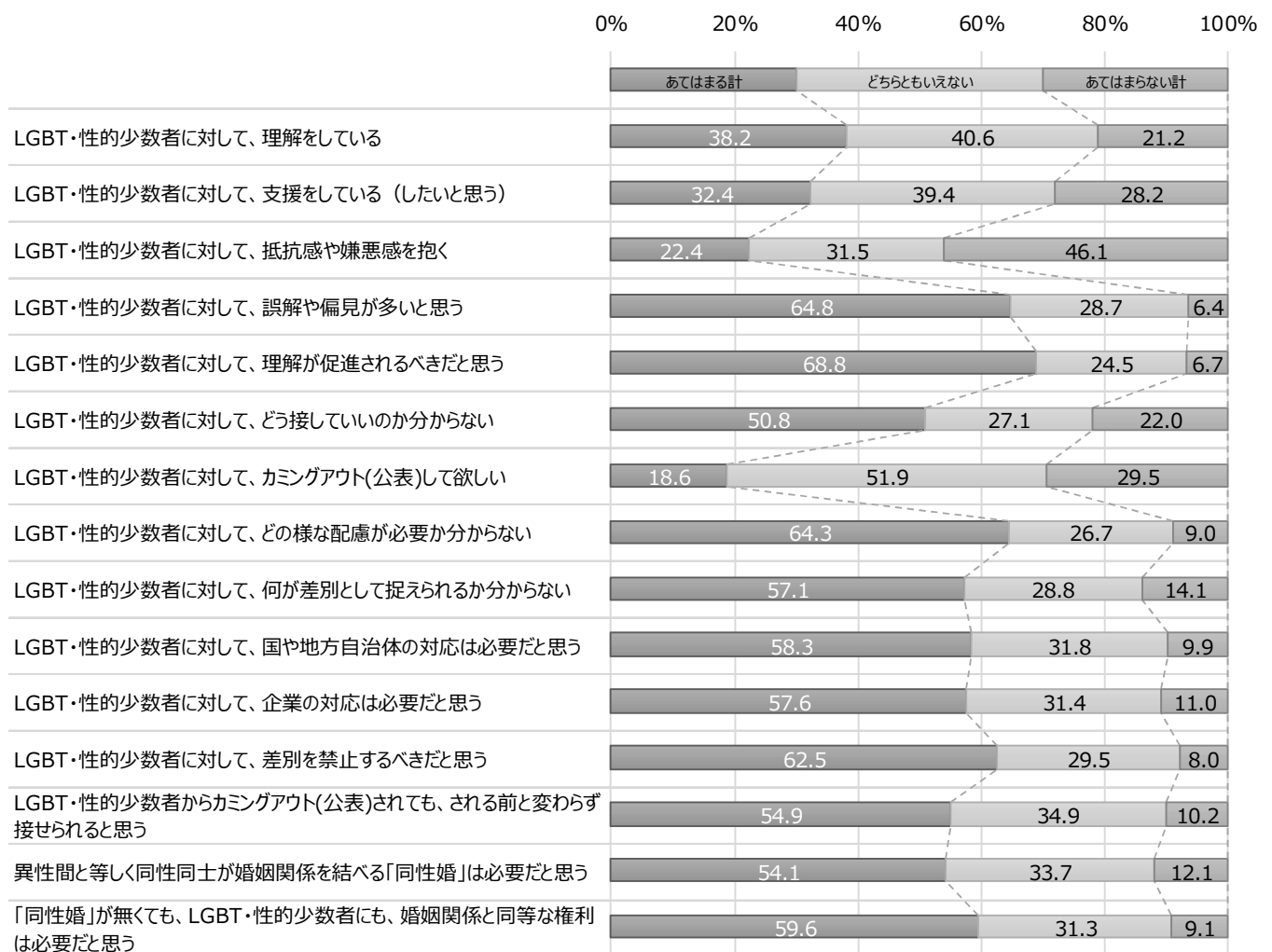
「国や地方自治体、企業の対応は必要だと思う」や「理解が促進されるべきだと思う」の項目について、「とてもあてはまる」、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した方の合計は 50%以上となり、理解促進や国、地方自治体が対応する必要性を感じています。

Q16: あなたは、以下の項目についてどの程度あてはまりますか。お気持ちに近いものをお選びください。(単一回答)

集計対象: 非 LGBT 層(単位: %)

あてはまる計: 「とてもあてはまる」、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した方の合計

あてはまらない計: 「全くあてはまらない」、「あてはまらない」、「あまりあてはまらない」と回答した方の合計



## 6 施策の必要性

### (1) 施策実施に対する認識実態

職場や学校、お住まいの地域でのLGBT・性的少数者向け、施策実施の認識状況は、職場・学校で9.2%、お住まいの地域で8.3%です。

地域での施策実施については、実際には施策を実施しているものの、それが認知されていない可能性が考えられます。

Q17: あなたの職場や学校・お住まいの地域では、現在何らかのLGBT・性的少数者向けの施策をしていますか。(複数回答)

集計対象: 全体(単位: %)

#### ◆職場・学校

|           | n<br>補正前 | n<br>補正後 | LGBT・性的少数者に関する研修や啓発活動 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(対面式などのリアルな窓口)の設置 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(電話)の設置 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(ネット上)の設置 | LGBT・性的少数者に対する差別禁止の宣言・明文化 | 同性パートナーに対する福利厚生上の平等化 | 性同一性障害を含むトランスジェンダーへのサポート | LGBT・性的少数者に関するイベントへの協賛・支援 | LGBT・性的少数者に対する支援グループの組成・運営 | LGBT・性的少数者に対するサービスや商品の提供 | 上記以外の取り組み | LGBT・性的少数者向けの施策はしていない | LGBT・性的少数者向けの施策実施計 |
|-----------|----------|----------|-----------------------|-------------------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------|-----------------------|--------------------|
| 全体        | 1039     | 1039     | 6.2                   | 2.7                                 | 1.8                       | 1.6                         | 1.3                       | 0.2                  | 0.9                      | 0.5                       | 0.4                        | 0.7                      | 0.5       | 90.8                  | 9.2                |
| LGBT層     | 779      | 779      | 5.4                   | 4.4                                 | 4.1                       | 4.2                         | 3.9                       | 2.9                  | 2.7                      | 1.7                       | 1.0                        | 1.1                      | 0.7       | 84.3                  | 15.7               |
| 非LGBT層    | 260      | 260      | 6.3                   | 2.6                                 | 1.7                       | 1.5                         | 1.2                       | 0.0                  | 0.8                      | 0.4                       | 0.4                        | 0.7                      | 0.5       | 91.2                  | 8.8                |
| トランスジェンダー | 260      | 249      | 3.7                   | 2.3                                 | 4.6                       | 4.2                         | 3.0                       | 0.6                  | 2.2                      | 1.4                       | 0.3                        | 0.7                      | 0.3       | 88.3                  | 11.7               |
| 同性愛者      | 259      | 142      | 7.7                   | 8.0                                 | 3.9                       | 4.3                         | 5.5                       | 5.2                  | 2.6                      | 2.1                       | 2.7                        | 1.0                      | 0.7       | 79.2                  | 20.8               |
| 両性愛者      | 260      | 388      | 5.7                   | 4.3                                 | 3.8                       | 4.0                         | 3.8                       | 3.6                  | 3.1                      | 1.8                       | 0.8                        | 1.3                      | 0.9       | 83.5                  | 16.5               |

#### ◆お住まいの地域

|           | n<br>補正前 | n<br>補正後 | LGBT・性的少数者に関する研修や啓発活動 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(対面式などのリアルな窓口)の設置 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(電話)の設置 | LGBT・性的少数者に関する相談窓口(ネット上)の設置 | LGBT・性的少数者に対する差別禁止の宣言・明文化 | 同性パートナーに対する福利厚生上の平等化 | 性同一性障害を含むトランスジェンダーへのサポート | LGBT・性的少数者に関するイベントへの協賛・支援 | LGBT・性的少数者に対する支援グループの組成・運営 | LGBT・性的少数者に対するサービスや商品の提供 | 上記以外の取り組み | LGBT・性的少数者向けの施策はしていない | LGBT・性的少数者向けの施策実施計 |
|-----------|----------|----------|-----------------------|-------------------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------------|----------------------|--------------------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------|-----------------------|--------------------|
| 全体        | 1039     | 1039     | 3.1                   | 0.6                                 | 2.9                       | 1.9                         | 0.8                       | 2.0                  | 0.5                      | 1.0                       | 0.9                        | 0.5                      | 0.4       | 91.7                  | 8.3                |
| LGBT層     | 779      | 779      | 2.8                   | 4.4                                 | 2.4                       | 2.2                         | 2.5                       | 2.6                  | 2.5                      | 1.7                       | 2.1                        | 1.7                      | 0.9       | 86.2                  | 13.8               |
| 非LGBT層    | 260      | 260      | 3.1                   | 0.4                                 | 2.9                       | 1.8                         | 0.7                       | 1.9                  | 0.4                      | 0.9                       | 0.9                        | 0.4                      | 0.4       | 92.0                  | 8.0                |
| トランスジェンダー | 260      | 249      | 0.8                   | 3.4                                 | 1.1                       | 1.5                         | 1.0                       | 0.3                  | 1.9                      | 0.7                       | 3.1                        | 1.5                      | 0.6       | 91.3                  | 8.7                |
| 同性愛者      | 259      | 142      | 6.2                   | 4.9                                 | 3.0                       | 1.2                         | 2.2                       | 6.3                  | 2.0                      | 4.2                       | 2.2                        | 1.6                      | 2.5       | 78.1                  | 21.9               |
| 両性愛者      | 260      | 388      | 2.9                   | 4.9                                 | 3.0                       | 2.9                         | 3.7                       | 2.7                  | 3.0                      | 1.4                       | 1.4                        | 1.8                      | 0.5       | 86.0                  | 14.0               |

## (2) 学校・教育現場での施策の必要性

学校・教育現場での施策の必要性で、「とても必要」、「必要」と回答した方の合計が最も高いのは、全体では、「教員に対する理解増進教育」が 50.0%、次いで「相談室の設置」48.8%、「授業での知識教育」37.6%と続いています。

Q18: あなたは学校や教育現場でのLGBT・性的少数者に対しての取り組みとしてそれぞれの程度必要だと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

「とても必要」、「必要」と回答した方の合計割合

|                             | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n =260<br>補正後 n =249 | 同性愛者<br>補正前 n =259<br>補正後 n =142 | 両性愛者<br>補正前 n =260<br>補正後 n =388 | 非LGBT層<br>補正前 n =260<br>補正後 n =260 |
|-----------------------------|-----------------|---------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 教員に対する理解増進教育                | 50.0            | 37.8                                  | 60.7                             | 52.5                             | 50.1                               |
| 相談室の設置                      | 48.8            | 36.9                                  | 51.5                             | 46.8                             | 49.1                               |
| 道徳の授業でLGBT・性的少数者についての知識教育   | 37.6            | 36.1                                  | 44.8                             | 47.2                             | 37.3                               |
| 保健体育の授業でLGBT・性的少数者についての知識教育 | 36.5            | 33.2                                  | 46.4                             | 46.3                             | 36.1                               |
| 戸籍性による髪型の規定廃止               | 34.3            | 27.2                                  | 41.1                             | 44.6                             | 34.0                               |
| 望む性の制服・服装の着用を許可すること         | 33.2            | 23.1                                  | 37.3                             | 42.5                             | 33.1                               |
| トランスジェンダーに配慮した更衣室の設置        | 30.4            | 27.7                                  | 36.0                             | 41.9                             | 30.0                               |
| トランスジェンダーに配慮したトイレの設置        | 29.7            | 27.0                                  | 31.8                             | 34.7                             | 29.6                               |
| 望む性の水着の着用を許可すること            | 29.2            | 23.8                                  | 33.4                             | 33.0                             | 29.2                               |
| 図書館に関連図書を置く                 | 24.8            | 23.6                                  | 31.5                             | 34.3                             | 24.5                               |
| LGBT・性的少数者についての講演会の実施       | 22.6            | 26.6                                  | 35.8                             | 30.6                             | 22.2                               |
| 戸籍性による男女別名簿の廃止              | 16.9            | 18.4                                  | 28.8                             | 25.1                             | 16.5                               |

※全体の値で降順



### (3) 職場での施策の必要性

職場での施策の必要性で、「とても必要」、「必要」と回答した方の合計が最も高いのは、全体では、「相談窓口の設置」が 39.4%、次いで「正しい理解の啓発・研修教育」が 36.6%で、学校・教育現場と同様の傾向にあります。

「同性パートナーシップ制度」の必要性については、同性愛者では 47.4%、両性愛者では 41.1%となっています。

**Q19: あなたは職場でのLGBT・性的少数者に対する取り組みとしてそれぞれの程度必要だと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)**

集計対象: 全体(単位: %)

「とても必要」、「必要」と回答した方の合計割合

|                             | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|-----------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 相談窓口の設置                     | 39.4            | 33.3                                | 43.2                           | 42.8                           | 39.4                             |
| LGBT・性的少数者に関する正しい理解の啓発、研修教育 | 36.6            | 35.0                                | 51.1                           | 46.5                           | 36.2                             |
| 当事者同士の交流・情報交換の場             | 31.1            | 30.4                                | 41.5                           | 34.6                           | 30.9                             |
| LGBT・性的少数者に対する差別を禁止する規定の制定  | 30.5            | 31.7                                | 47.0                           | 40.8                           | 30.0                             |
| LGBT・性的少数者に対する支援に関する規定の制定   | 29.4            | 32.6                                | 43.2                           | 40.8                           | 28.9                             |
| 同性パートナーシップ制度                | 29.2            | 32.9                                | 47.4                           | 41.1                           | 28.6                             |
| トランスジェンダーに配慮した設備の整備         | 28.4            | 32.1                                | 41.3                           | 36.3                           | 27.9                             |

※全体の値で降順

#### (4) 自治体での施策の必要性

自治体での施策の必要性について、「とても必要」、「必要」と回答した方の合計が最も高いのは、全体では、「電話での窓口相談」が42.8%、次いで「窓口対応する職員の研修・教育」が40.1%です。

セクシュアリティ別では、トランスジェンダーは、「電話での窓口相談」が最も高く34.9%、同性愛者・両性愛者は、「窓口対応する職員の研修・研究」が最も高く、同性愛者52.4%、両性愛者49.3%です。

Q20: あなたがお住まいの自治体で、LGBT・性的少数者に対する取り組み・施策としてそれぞれの程度必要だと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。(単一回答)

集計対象: 全体(単位: %)

「とても必要」、「必要」と回答した方の合計割合

|                                    | 全体<br>(N=1,039) | トランスジェンダー<br>補正前 n=260<br>補正後 n=249 | 同性愛者<br>補正前 n=259<br>補正後 n=142 | 両性愛者<br>補正前 n=260<br>補正後 n=388 | 非LGBT層<br>補正前 n=260<br>補正後 n=260 |
|------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 電話での相談窓口                           | 42.8            | 34.9                                | 48.6                           | 38.2                           | 43.0                             |
| 窓口対応する職員の研修・教育                     | 40.1            | 32.6                                | 52.4                           | 49.3                           | 39.9                             |
| 区役所などの対面式の相談窓口                     | 35.7            | 29.3                                | 43.0                           | 34.7                           | 35.7                             |
| トランスジェンダーに配慮したトイレの設置               | 33.8            | 30.2                                | 42.7                           | 39.0                           | 33.6                             |
| セーフティーネットとなるコミュニティスペースの確保          | 33.8            | 31.9                                | 46.4                           | 38.3                           | 33.5                             |
| SNSなどネット上の相談窓口                     | 33.7            | 30.2                                | 46.2                           | 39.6                           | 33.5                             |
| LGBT・性的少数者に対する差別を禁止する規定の制定(条例・要綱等) | 33.3            | 30.6                                | 45.7                           | 48.2                           | 32.8                             |
| トランスジェンダーに配慮した申請書類の性別記入欄に変更する      | 32.7            | 28.5                                | 42.5                           | 42.9                           | 32.3                             |
| トランスジェンダーに配慮した更衣室の設置               | 31.6            | 32.0                                | 42.0                           | 37.1                           | 31.3                             |
| 同性パートナーシップ制度                       | 31.3            | 31.2                                | 51.5                           | 45.9                           | 30.6                             |
| トランスジェンダーに配慮した公衆浴場やシャワールームの設置      | 30.1            | 30.5                                | 38.9                           | 37.6                           | 29.8                             |
| LGBT・性的少数者に配慮した体制                  | 29.9            | 30.0                                | 44.6                           | 46.7                           | 29.2                             |
| LGBT・性的少数者に対する支援に関する規定の制定(条例・要綱等)  | 28.3            | 30.3                                | 46.5                           | 40.8                           | 27.7                             |
| 教育・啓発教材の作成                         | 27.8            | 29.4                                | 41.7                           | 36.5                           | 27.4                             |
| 区報、ホームページでの情報発信                    | 26.7            | 32.3                                | 37.2                           | 35.1                           | 26.2                             |
| 大学などと連携した就職支援制度                    | 24.5            | 29.6                                | 44.3                           | 35.0                           | 23.9                             |
| 講演会・研修会の開催                         | 24.0            | 28.5                                | 32.8                           | 35.1                           | 23.5                             |
| 民間企業との協働企画イベント                     | 23.7            | 30.2                                | 40.6                           | 32.5                           | 23.1                             |
| SNSでの情報発信                          | 22.4            | 21.7                                | 40.4                           | 30.8                           | 22.0                             |
| 関連イベントの開催                          | 22.2            | 27.5                                | 33.9                           | 29.3                           | 21.8                             |
| パンフレットの作成                          | 18.7            | 25.4                                | 31.8                           | 28.9                           | 18.2                             |

※全体の値で降順

### Ⅲ 調査結果のまとめと今後の課題

#### 1 LGBT関連用語の理解について(P. 7～8)

この調査項目の目的は、LGBT関連用語についての理解度を調査し、LGBT層及び非LGBT層それぞれの基礎的な知識が、どれだけあるのかを確認することで、それぞれの意識の差や行動指針の策定時における適切な言葉を選定するための基礎資料とするものです。

LGBT関連用語の名称認知率については、LGBT層と非LGBT層を合わせた全体では、80%を上回る用語(「LGBT」、「性同一性」、「トランスジェンダー」、「ホモセクシュアル」、「バイセクシュアル」)がある一方で、LGBT層であっても30%を下回る用語(「SOGI」、「アライ」等)があり、社会の中で浸透している用語は、まだ多いとは言えない状況です。(P. 7)

また、LGBT関連用語の内容理解率については、基本的な用語(「セクシュアリティ」、「性的指向」、「性自認」)であっても、全体では50%を下回る結果となっています。(P. 8)

こうした結果から、非LGBT層だけでなくLGBT層を含めた全体について、基礎知識を向上していくための取組みが必要です。

#### 2 否定的な言動に対する意識について(P. 9～11)

この調査項目の目的は、LGBT層と非LGBT層において、差別を感じている内容の違い、経験や意識の差を調査し、LGBT層と非LGBT層では、価値観の違いから、「否定的」と感じる言葉に差が生じている可能性があるという仮説のもとに、当事者と非当事者に対して聴取し、計画策定の資料とするものです。

否定的な言動に対する差別意識では、プライバシーに立ち入る言動である「許可なき暴露」、「カミングアウト(公表)の強要」が、全体では、それぞれ54.8%、51.3%で、半数以上が「差別的」(「とても差別的だと思う」「差別的だと思う」と回答した方の合計)であると意識しています。(P. 10)

また、「差別的」と回答した項目の上位については、LGBT層と非LGBT層に大きな差はありませんが、「男らしさ・女らしさを求めること」や「性別記入欄・確認欄で“男性”“女性”の選択肢しかないこと」については、LGBT層と非LGBT層に意識の差がみられます。(P. 11)

これまでの社会では当たり前とされてきた項目について、現在でも、非LGBT層では差別的と捉えていない方が多いことが読み取れますので、非LGBT層に対し、国内外の動きや社会意識の変化などを含めた意識啓発を行っていく必要があります。

#### 3 カミングアウト(公表)について(P. 12～17)

この調査項目の目的は、カミングアウト(公表)の実態や、カミングアウト(公表)したくない理由を調査し、カミングアウト(公表)の障壁を知ることで、施策を考える手掛かりとするものです。

LGBT層で「カミングアウト(公表)」した方の割合は、全体では30.4%で、約70%の方は「誰にもカミングアウト(公表)していない」状況です。また、「誰にもカミングアウト(公表)していない」方の約50%は、今後も「まったくカミングアウト(公表)したくない」と回答しています。(P. 12～13)

カミングアウト(公表)したくない理由には、「理解してもらえない」、「偏見がありそう」といった周囲の無理解によるものが多く挙がっています。(P. 16～17)

今後は、カミングアウト(公表)に関する調査結果からも、周囲の無理解に対し、偏見をなくし、LGBT・性的少数者に対する理解を深める取組みをさらに進めていく必要があります。

## 4 LGBT層の困難な経験について(P. 18～22)

この調査項目の目的は、LGBT層の「過去と現在」における各生活場面での困難な経験や課題を調査し、性同一性の視点や性的指向の視点の課題について、困難度が高いと考えられる項目により調査し、施策を考える手掛かりとするものです。

LGBT・性的少数者であることで、子ども時代に経験したことは、周囲の理解不足に起因するもの(「学校生活での相談相手の不在」、「学校生活での差別・いじめ」、「親の無理解」)が上位に挙げられています。(P. 19)

また、大人になってから経験したことの上位にも、子ども時代と同様に周囲の理解不足に起因するもの(「親の無理解」、「友人の無理解」、「職場のハラスメント」)が挙げられ、困難度については、「とても困難を感じた」割合は、子ども時代、大人になってからのどちらも、「親の無理解」が最も高くなっています。(P. 20)

トランスジェンダー特有の課題としては、「身体の性別で区分されること」により困難が生じると推察し、想定される項目を提示して調査を行っています。困難な経験について回答した方が少なかったものの、子ども時代、大人になってからのどちらの経験の中でも、「望む性の制服(学生服、仕事関係の制服)を着ることができない」ことが、最も高く、いずれも3%台となっています。(P. 21)

同性愛者・両性愛者特有の課題としては、「パートナーと法的に家族関係になれないこと」により困難が生じると推察し、想定される項目(「仕事関係で家族同様の福利厚生が受けられない」、「社会保障上の家族扱いを受けられない」)を提示して調査を行っています。困難な経験がある方は、同性愛者で5%程度、両性愛者は1%程度です。(P. 22)

また、困難度については、集計対象が僅少のため、参考値となりますが、両性愛者では困難度(「困難を感じた」、「困難を感じた」、「やや困難を感じた」と回答した方の割合)が低い一方で、同性愛者では困難度が80%を超える高さとなっています。(P. 22)

LGBT層の経験から、家庭、学校、社会など生活のどの場面においても、周囲の理解不足により困難を感じているため、それぞれの場面での困難を解決していく必要があります。加えて、各セクシュアリティ特有の課題への理解を深め、課題を解決する取組みが求められています。

## 5 非LGBT層の LGBT層への理解について(P. 27)

この調査項目の目的は、非LGBT層のLGBT層への理解度を複数の項目により調査し、今後の啓発活動等の施策の資料とするものです

非LGBT層は、LGBT・性的少数者に対し、「どう接していいかわからない」、「どのような配慮が必要かわからない」、「何が差別として捉えられるかわからない」という項目について、「あてはまる」(「とてもあてはまる」、「あてはまる」、「ややあてはまる」と回答した方の合計)と回答した方が、50%を超えています。一方、「理解が促進されるべき」、「国や地方自治体の対応は必要」、「企業の対応は必要」という項目について、「あてはまる」と回答した方が、50%を超えています。(P. 27)

非LGBT層は、LGBT・性的少数者への直接的な関わり方について、知識不足の方が多い結果となっていますが、LGBT・性的少数者に対する理解促進や国や地方自治体、企業が対応する必要性を感じています。(P. 27)

今後も非LGBT層に対し、LGBT・性的少数者への直接的な関わり方を具体的に示す等、意識啓発を図るとともに、行政や企業の対応を推進する必要があります。

## 6 施策の必要性について(P. 28～31)

この調査項目の目的は、学校・教育現場や職場、自治体における施策ごとの必要性を調査し、必要性を量的に把握することで、施策検討の優先度等を整理するものです。

学校・教育現場での施策の必要性について、「とても必要」、「必要」と回答した方の合計が最も高いのは、全体では、「教員に対する理解増進教育」、次いで「相談室の設置」です。(P. 29)

また、職場での施策の必要性について、最も高いのは、全体では、「相談窓口の設置」、次いで、「正しい理解の啓発・研修教育」となり、学校・教育現場と同様の傾向にあります。(P. 30)

さらに、自治体での施策について、「とても必要」、「必要」と回答した方の合計が最も高いのは、全体では、「電話での相談窓口」、次いで「窓口対応する職員の研修・教育」となり、学校・教育現場や職場と同様の傾向にあります。(P. 31)

今回の調査においては、LGBT層の対象者の区分をより広く、また、非LGBT層を含めた調査を行っています。さらに、他の調査では行っていなかった新たな用語の理解度などの調査を行うなど、LGBT層当事者を取り巻く環境や非LGBT層を含めた意識の現状を把握するための調査を実施しています。また、記述式の自由回答では、普段声を上げない方々からの回答が、今後の計画策定において、大変有意義なものになると考えています。

全体をとおして、LGBT層は、自分達が理解されていないと感じ、非LGBT層は、LGBT層への接し方などが分からないということが、よく結果として表れており、LGBT層であっても、基礎的な用語でさえ認知度が低いという結果となっています。

項目ごとの結果では、「1 LGBT関連用語の理解」の低さをはじめ、「2 否定的な言動に対する意識」の低さや、「3 カミングアウト(公表)」の公表したくない理由、「4 LGBT層の困難な経験」の原因等、周囲の理解や知識不足によるものが上位となっています。「5 非LGBT層のLGBT層への理解」においても、非LGBT層はLGBT・性的少数者への直接的な関わり方について、知識不足の方が多く結果となっており、周囲の意識啓発の充実が必要です。本区では、男女共同参画KOTOプラン(第6次行動計画)の中で、「性的少数者(性的マイノリティ)についての意識啓発」を施策の一つに掲げ、学習講座等を実施しているところですが、区報やホームページ、学習講座の充実等さらなる意識啓発の推進が必要です。

また、「6 施策の必要性」で、上位となっている項目は、学校・教育現場や職場、自治体すべてにおいて、相談体制の充実や職員等に対する啓発、研修、教育となっています。「6 施策の必要性」の中で、自治体での電話での相談窓口の必要性が高いとの結果が出ていますが、本区では、LGBT層の専門相談窓口を設置していないため、SNSを活用する等の相談窓口の充実や LGBT・性的少数者の相談窓口の設置を図り、同じく上位にある計画的な窓口職員等への研修、学校・教育現場や企業における研修制度を推進する必要があります。

さらに、周知事業や相談体制、職員研修等を充実しながら、並行して、トランスジェンダーに配慮したトイレの設置等の施設整備、LGBT・性的少数者に対する差別を禁止する規定の制定、書類等の性別欄の見直し、パートナーシップ制度等についても順次検討して行く必要があります。

本区において、今後は、これまでの取組みを充実し、生活の場(家庭、学校、仕事関係)の各場面における課題解決等、それぞれに対する取組みを推進し、すべての区民がお互いの人権を尊重し、性別、年齢、国籍、価値観、生き方などの様々な違いを認め合い、自分らしく生きることができる多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現を目指します。

## 【資 料】

### 1 江東区男女共同参画審議会専門部会設置要領

制定 令和元年10月16日31江総共第706号

(設置)

第1条 男女共同参画行動計画改定へ向けての基礎調査として実施する性的マイノリティ当事者へのアンケート調査の内容について、専門的かつ効率的な検討を行うため、江東区男女共同参画審議会(以下「審議会」という。)に専門部会(以下「部会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 部会は、次に掲げる事項を検討し、その結果を審議会に報告する。

- (1) 性的マイノリティ当事者へのアンケート調査内容
- (2) 性的マイノリティ当事者へのアンケート調査結果

(組織)

第3条 部会は、部会長及び副部会長及び部会員をもって構成する。

- 2 部会長は、男女共同参画審議会会長をもって充てる。
- 3 副部会長は、部会長が指名した部会員をもって充てる。
- 4 部会員は、男女共同参画審議会副会長をもって充てる。

(運営)

第4条 部会長は、必要に応じて委員会を招集し、会務を総理する。

- 2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 3 部会長は、必要があると認めるときは、部会員以外の者の出席を求め、又は他の方法で意見を聞くことができる。

(庶務)

第5条 部会の庶務は、男女共同参画推進センターにおいて処理する。

(委任)

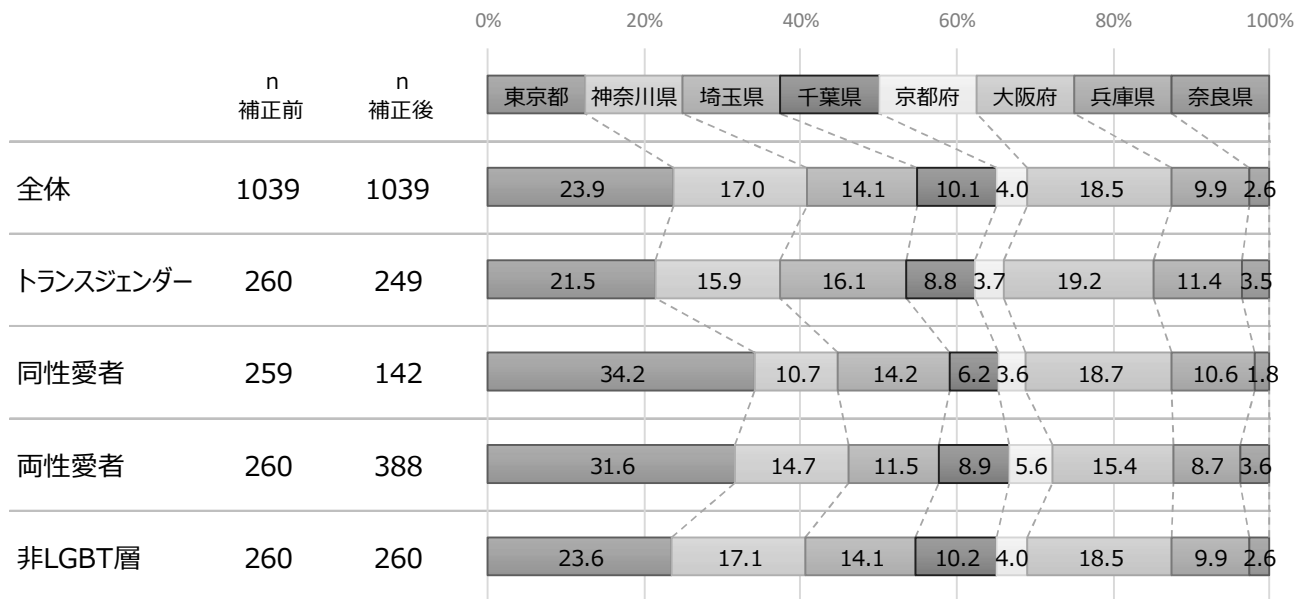
第6条 前各号に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が別に定める。

## 2 江東区男女共同参画審議会専門部会委員名簿

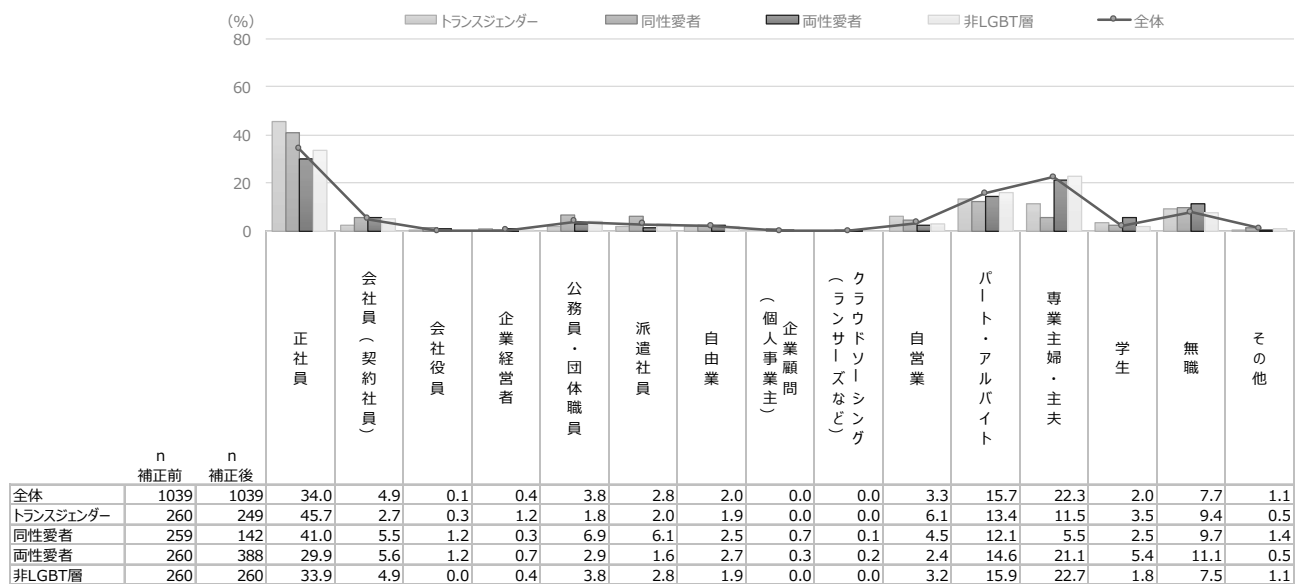
| 職     | 氏 名          | 所 属 等    |
|-------|--------------|----------|
| 部 会 長 | 江 上    千 恵 子 | 弁護士      |
| 副部会長  | 櫻 木    晃 裕   | 宮城大学教授   |
| 部 会 員 | 古 谷    英 恵   | 武蔵野大学准教授 |

### 3 属性

#### (1) 居住地

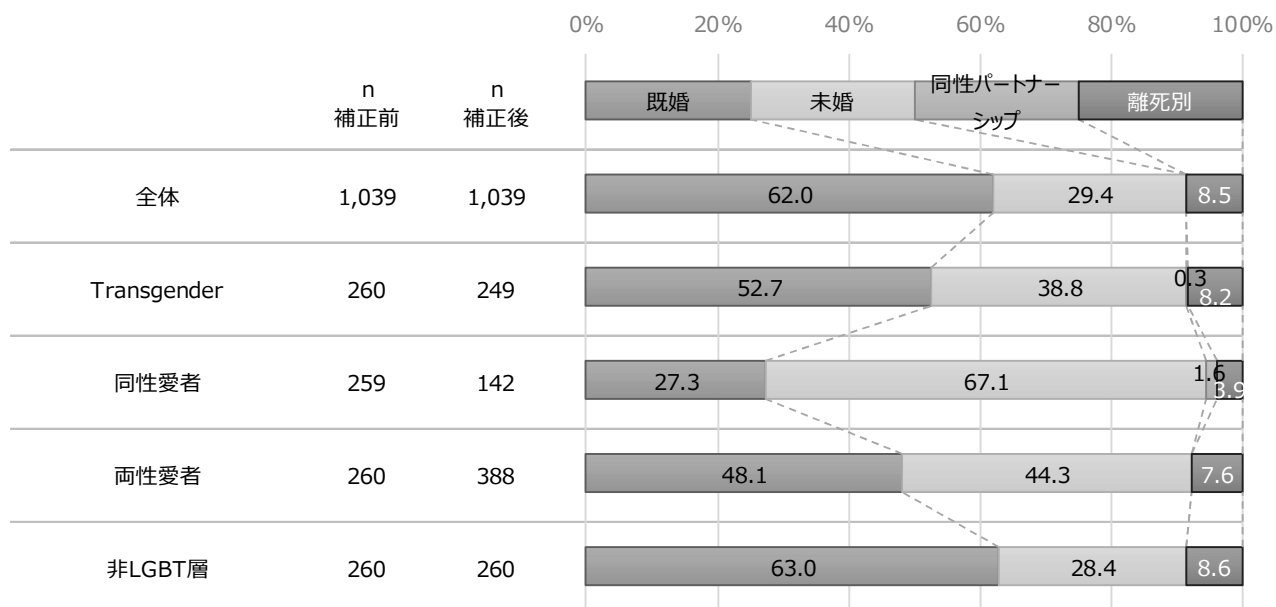


#### (2) 職業

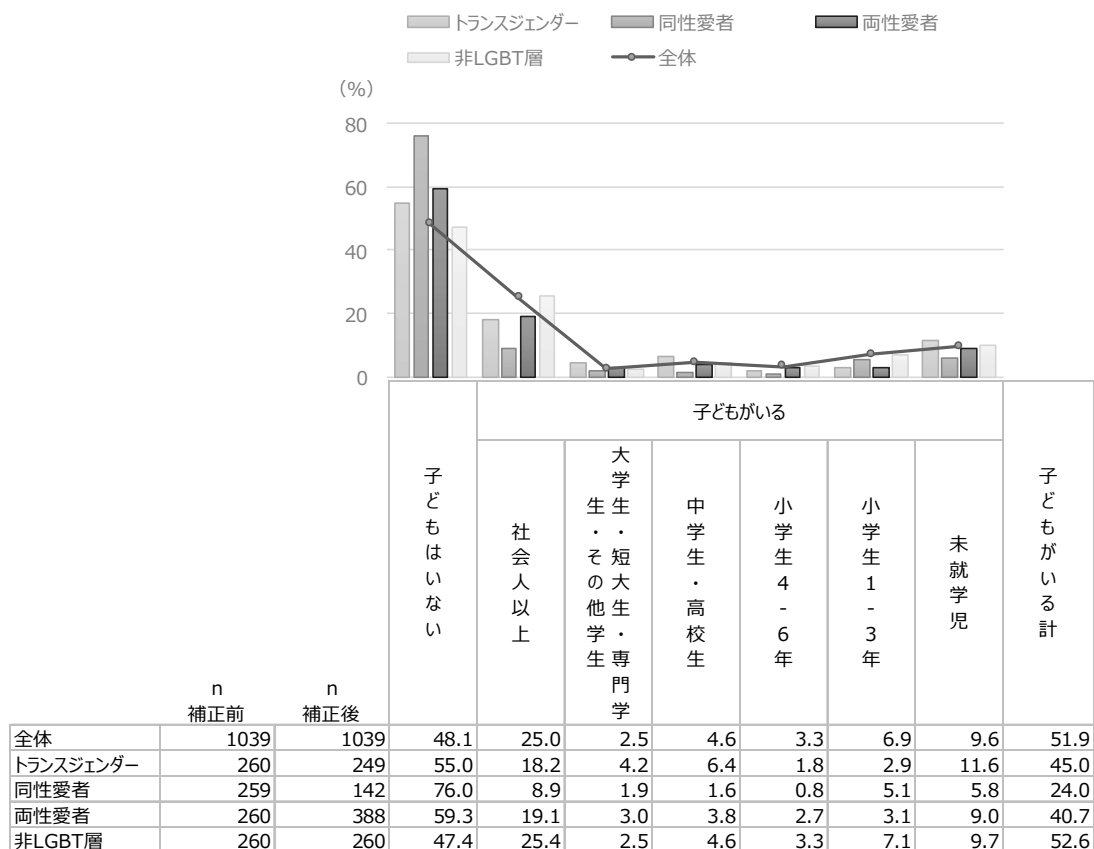




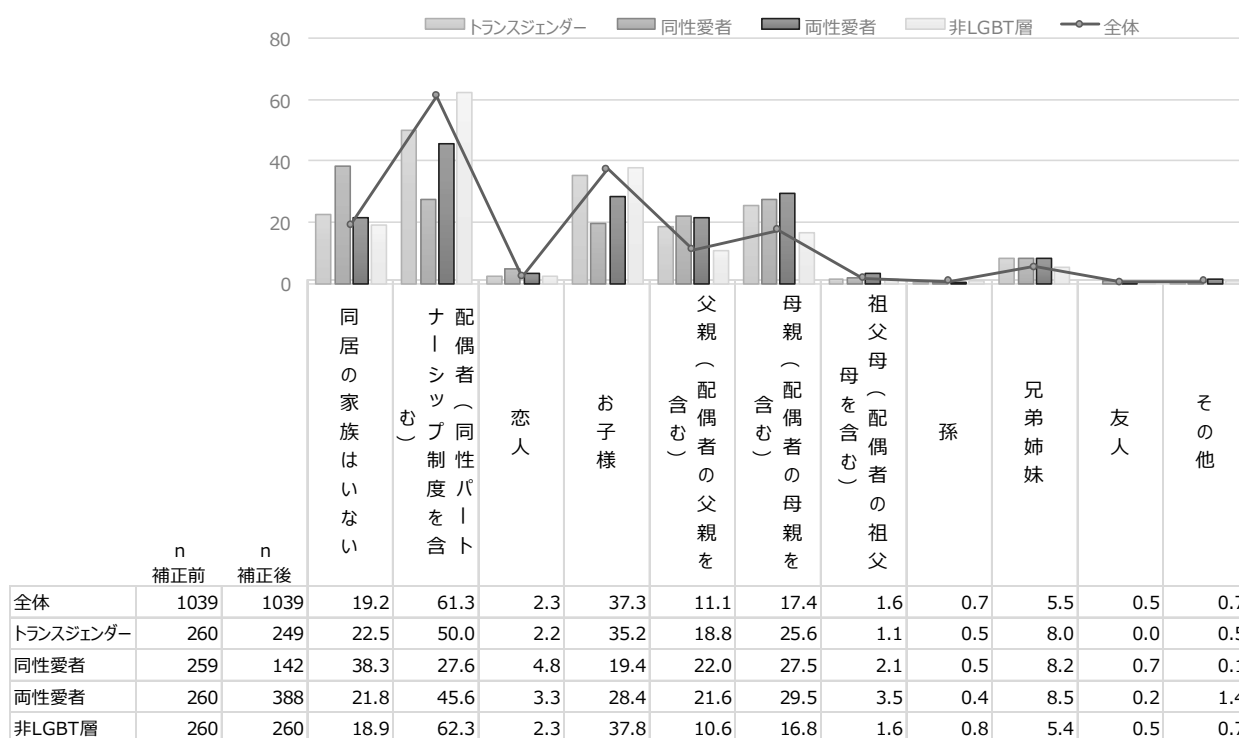
### (3) 婚姻状況



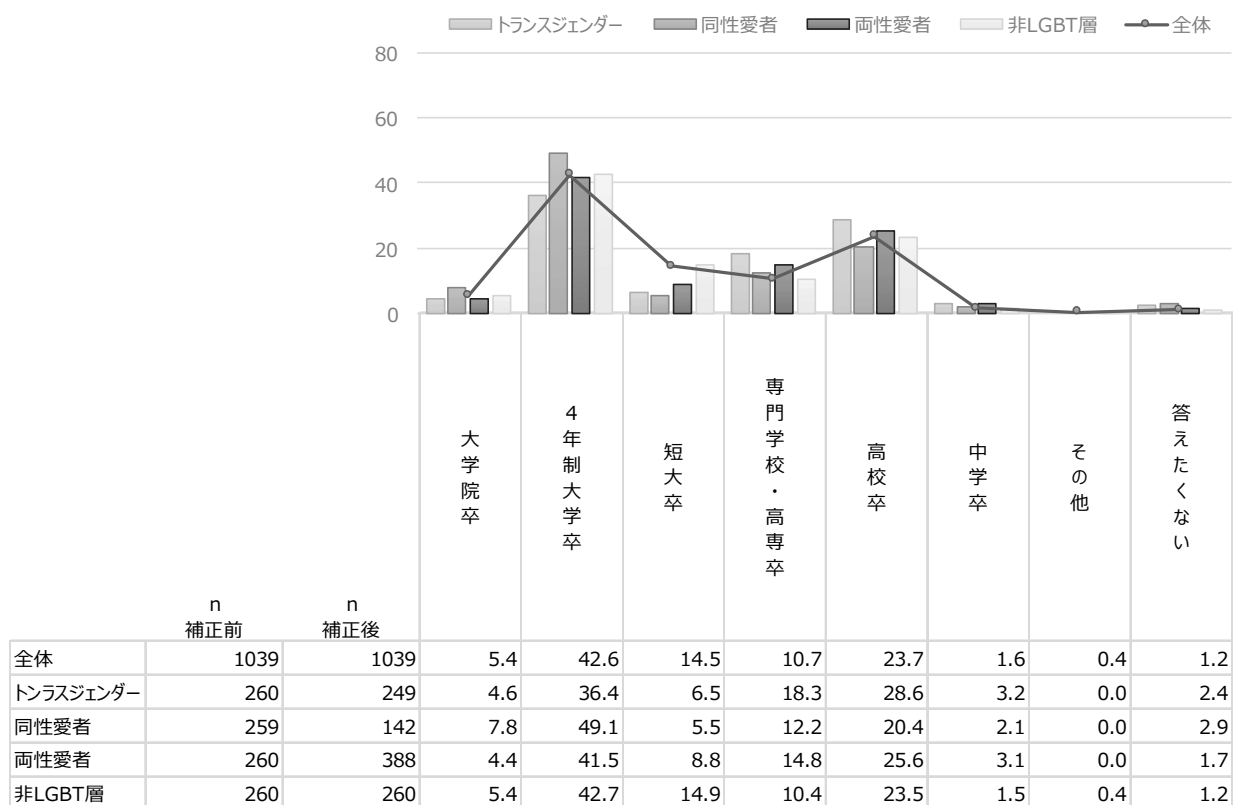
### (4) こども有無



## (5) 同居家族

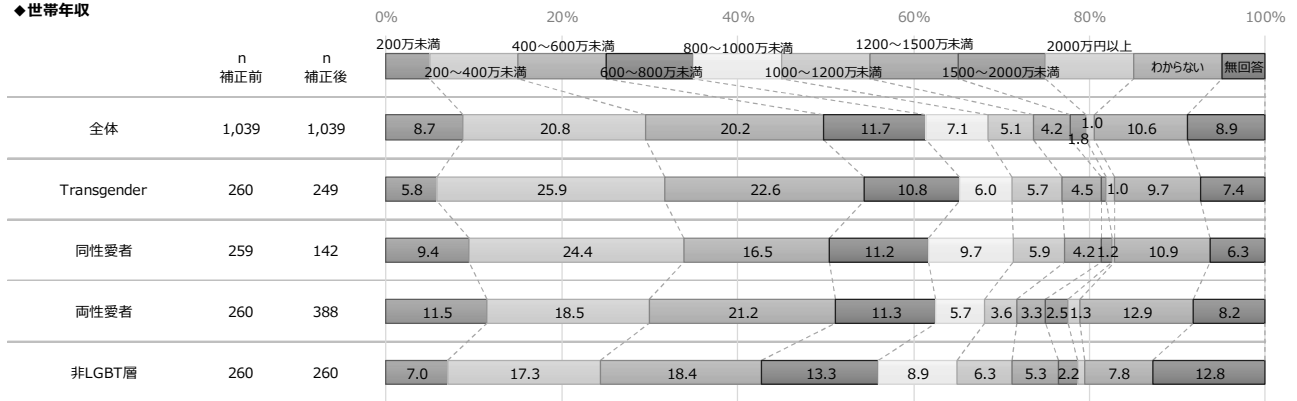


## (6) 学歴

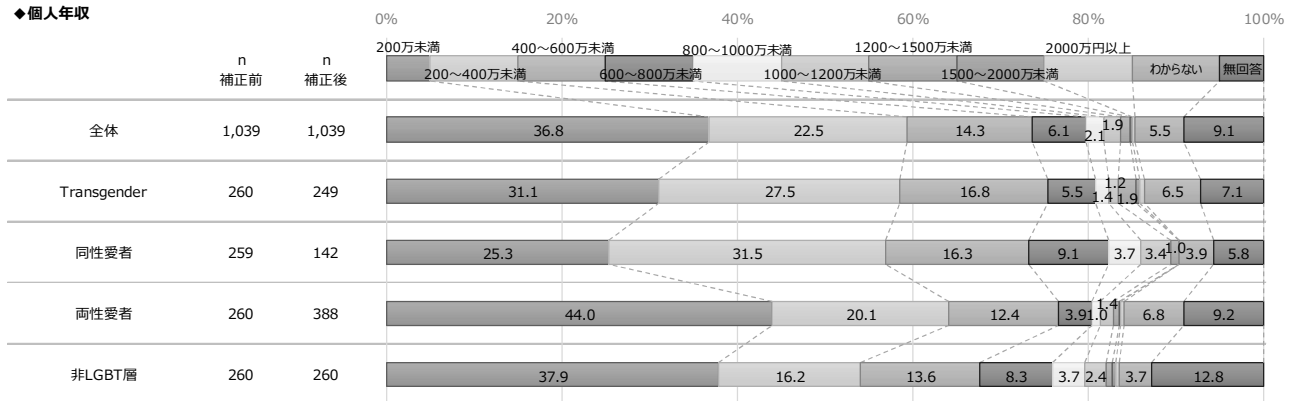


## (7) 年収

### ◆世帯年収



### ◆個人年収



## 2 調査票

Q1

あなたの職業をお答えください。（ひとつだけ）  
※複数ある場合はメインのものをお答えください。

- ☐ 1. 正社員
- ☐ 2. 会社員（契約社員）
- ☐ 3. 会社役員
- ☐ 4. 企業経営者
- ☐ 5. 公務員・団体職員
- ☐ 6. 派遣社員
- ☐ 7. 自由業
- ☐ 8. 企業顧問（個人事業主）
- ☐ 9. クラウドソーシング（ランサーズなど）
- ☐ 10. 自営業
- ☐ 11. パート・アルバイト
- ☐ 12. 専業主婦・主夫
- ☐ 13. 学生
- ☐ 14. 無職
- ☐ 15. その他 具体的に【FA】

Q2

あなたの現在の婚姻状況をお知らせください。

- ☐ 1. 既婚
- ☐ 2. 未婚
- ☐ 3. 同性パートナーシップ（自治体指定のものを活用）
- ☐ 4. 離死別

Q3

あなたはお子様はいらっしゃいますか。  
※複数人お子様がいらっしゃる場合は長子のお子様についてお答えください。

- ☐ 1. 子どもはいない
- ☐ 2. 社会人以上
- ☐ 3. 大学生・短大生・専門学生・その他学生
- ☐ 4. 中学生・高校生
- ☐ 5. 小学生4-6年
- ☐ 6. 小学生1-3年
- ☐ 7. 未就学児

**Q4**

あなたが現在同居されている方についてあてはまるものを全てお答え下さい。  
※あなたから見た続柄でお答えください。

- |                          |     |                            |
|--------------------------|-----|----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1.  | 同居の家族はいない                  |
| <input type="checkbox"/> | 2.  | 配偶者（同性パートナーシップ制度を取得した方を含む） |
| <input type="checkbox"/> | 3.  | 恋人                         |
| <input type="checkbox"/> | 4.  | お子様                        |
| <input type="checkbox"/> | 5.  | 父親（配偶者の父親を含む）              |
| <input type="checkbox"/> | 6.  | 母親（配偶者の母親を含む）              |
| <input type="checkbox"/> | 7.  | 祖父母（配偶者の祖父母を含む）            |
| <input type="checkbox"/> | 8.  | 孫                          |
| <input type="checkbox"/> | 9.  | 兄弟姉妹                       |
| <input type="checkbox"/> | 10. | 友人                         |
| <input type="checkbox"/> | 11. | その他【FA】                    |

**Q5**

あなたの最終学歴としてあてはまるものをお答えください。

- |                       |    |              |
|-----------------------|----|--------------|
| <input type="radio"/> | 1. | 大学院卒         |
| <input type="radio"/> | 2. | 4年制大学卒       |
| <input type="radio"/> | 3. | 短大卒          |
| <input type="radio"/> | 4. | 専門学校・高専卒     |
| <input type="radio"/> | 5. | 高校卒          |
| <input type="radio"/> | 6. | 中学卒          |
| <input type="radio"/> | 7. | その他 具体的に【FA】 |
| <input type="radio"/> | 8. | 答えたくない       |

## Q6

あなたは下記についてそれぞれの程度ご存じですか。  
あてはまるものをお答えください。

### 項目リスト

- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. LGBT（LGBTQなど） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2. セクシュアリティ      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. SOGI          |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4. 性的指向          |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. 性自認           |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6. 性同一性          |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7. シスジェンダー       |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 8. トランスジェンダー     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 9. Xジェンダー        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 10. ヘテロセクシュアル    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 11. ホモセクシュアル     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 12. バイセクシュアル     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 13. Aセクシュアル      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 14. トランスセクシュアル   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 15. アライ          |

### 選択肢リスト

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| <input type="radio"/> | 1. 言葉を知っていて、内容も理解している   |
| <input type="radio"/> | 2. 言葉を知っているが、内容は理解していない |
| <input type="radio"/> | 3. 言葉を知らなかった            |

## Q7

あなたの身の回りにLGBT・性的少数者の方はいらっしゃいますか。  
あてはまるものをお答え下さい。（いくつでも）

- |                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. レズビアン（女性同性愛者）の方がいる              |
| <input type="checkbox"/> | 2. ゲイ（男性同性愛者）の方がいる                 |
| <input type="checkbox"/> | 3. バイセクシュアル（両性愛者）の方がいる             |
| <input type="checkbox"/> | 4. トランスジェンダー（出生時の性別に違和感を感じている方）がいる |
| <input type="checkbox"/> | 5. 上記に該当しない性的少数者の方がいる              |
| <input type="checkbox"/> | 6. 身の回りにLGBT・性的少数者の方はいない           |

Q8

あなたがこれまでにLGBT・性的少数者であることが理由で経験したことはありますか。  
 あてはまるものをすべてお答えください。

LGBT層のみに表示

## 項目リスト

1. 子ども時代(18歳未満)
2. 大人になってから(18歳以降)

## 選択肢リスト

- ☐ 1. 親の無理解
- ☐ 2. 親族の無理解
- ☐ 3. 家庭内暴力
- ☐ 4. DV被害
- ☐ 5. 性暴力被害
- ☐ 6. 性感染症
- ☐ 7. 自殺願望
- ☐ 8. 自殺未遂
- ☐ 9. 許可無き暴露(アウティング)
- ☐ 10. 差別・いじめ
- ☐ 11. 友人の無理解
- ☐ 12. 教職員の無理解
- ☐ 13. 相談相手の不在
- ☐ 14. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☐ 15. 宿泊を伴う行事で望む性での分けをしてもらえない
- ☐ 16. 望む性の制服を着ることができない
- ☐ 17. 就労支援機関での差別・ハラスメント
- ☐ 18. 就職活動での差別・ハラスメント
- ☐ 19. 職場でのハラスメント
- ☐ 20. 職場で法的な家族と同様の福利厚生が受けられない
- ☐ 21. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☐ 22. 望む性の制服や服装で就労できない
- ☐ 23. 窓口などの職員対応が配慮に欠けている
- ☐ 24. 公的書類の記載内容と見た目の性の不一致による手続きの煩雑さ
- ☐ 25. 性別記載欄で選択すべき性に戸惑いを感じた
- ☐ 26. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☐ 27. 災害時の避難所での生活に不安を感じる
- ☐ 28. がん検診クーポンなどの検診(健診)サービスが戸籍性で分けられること
- ☐ 29. 医療・介護サービス利用時に不都合が生じる
- ☐ 30. 社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合(保険・医療サービス・住宅)
- ☐ 31. 地域住民の無理解による差別・ハラスメント
- ☐ 32. その他
- ☐ 33. あてはまるものはない

## Q9

先ほどの設問でお答えになった下記の「子ども時代に経験したこと」についてあなたにとってどの程度困難な経験でしたか。

お気持ちに近いものをお答えください。

LGBT層のみに表示

## 項目リスト

|     |                                         |
|-----|-----------------------------------------|
| 1.  | 親の無理解                                   |
| 2.  | 親族の無理解                                  |
| 3.  | 家庭内暴力                                   |
| 4.  | DV被害                                    |
| 5.  | 性暴力被害                                   |
| 6.  | 性感染症                                    |
| 7.  | 自殺願望                                    |
| 8.  | 自殺未遂                                    |
| 9.  | 許可無き暴露(アウティング)                          |
| 10. | 差別・いじめ                                  |
| 11. | 友人の無理解                                  |
| 12. | 教職員の無理解                                 |
| 13. | 相談相手の不在                                 |
| 14. | トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない                |
| 15. | 宿泊を伴う行事で望む性での分けをしてもらえない                 |
| 16. | 望む性の制服を着ることができない                        |
| 17. | 窓口などの職員対応が配慮に欠けている                      |
| 18. | 公的書類の記載内容と見た目の性の不一致による手続きの煩雑さ           |
| 19. | 性別記載欄で選択すべき性に戸惑いを感じた                    |
| 20. | トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない                |
| 21. | 災害時の避難所での生活に不安を感じる                      |
| 22. | がん検診クーポンなどの検診（健診）サービスが戸籍性で分けられること       |
| 23. | 医療・介護サービス利用時に不都合が生じる                    |
| 24. | 社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合（保険・医療サービス・住宅） |
| 25. | 地域住民の無理解による差別・ハラスメント                    |
| 26. | その他【【Q8S1_32FAの選択内容】】                   |

## 選択肢リスト

|                       |    |               |
|-----------------------|----|---------------|
| <input type="radio"/> | 1. | とても困難を感じた     |
| <input type="radio"/> | 2. | 困難を感じた        |
| <input type="radio"/> | 3. | やや困難を感じた      |
| <input type="radio"/> | 4. | どちらともいえない     |
| <input type="radio"/> | 5. | あまり困難に感じなかった  |
| <input type="radio"/> | 6. | 困難に感じなかった     |
| <input type="radio"/> | 7. | まったく困難に感じなかった |



# Q10

先ほどの設問でお答えになった下記の「大人になってから経験したこと」について、あなたにとってどの程度困難な経験でしたか。  
お気持ちに近いものをお答えください。

LGBT層のみに表示

## 項目リスト

- ☒ 1. 親の無理解
- ☒ 2. 親族の無理解
- ☒ 3. 家庭内暴力
- ☒ 4. DV被害
- ☒ 5. 性暴力被害
- ☒ 6. 性感染症
- ☒ 7. 自殺願望
- ☒ 8. 自殺未遂
- ☒ 9. 許可無き暴露(アウティング)
- ☒ 10. 差別・いじめ
- ☒ 11. 友人の無理解
- ☒ 12. 教職員の無理解
- ☒ 13. 相談相手の不在
- ☒ 14. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☒ 15. 宿泊を伴う行事で望む性での区分けをしてもらえない
- ☒ 16. 望む性の制服を着ることができない
- ☒ 17. 就労支援機関での差別・ハラスメント
- ☒ 18. 就職活動での差別・ハラスメント
- ☒ 19. 職場でのハラスメント
- ☒ 20. 職場で法的な家族と同様の福利厚生が受けられない
- ☒ 21. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☒ 22. 望む性の制服や服装で就労できない
- ☒ 23. 窓口などの職員対応が配慮に欠けている
- ☒ 24. 公的書類の記載内容と見た目の性の不一致による手続きの煩雑さ
- ☒ 25. 性別記載欄で選択すべき性に戸惑いを感じた
- ☒ 26. トイレや更衣室の利用で望む性で施設を利用できない
- ☒ 27. 災害時の避難所での生活に不安を感じる
- ☒ 28. がん検診クーポンなどの検診（健診）サービスが戸籍性で分けられること
- ☒ 29. 医療・介護サービス利用時に不都合が生じる
- ☒ 30. 社会保障上の家族扱いを受けられないことによる不都合（保険・医療サービス・住宅）
- ☒ 31. 地域住民の無理解による差別・ハラスメント
- ☒ 32. その他【【Q8S2\_32FAの選択内容】】

## 選択肢リスト

- ☐ 1. とても困難を感じた
- ☐ 2. 困難を感じた
- ☐ 3. やや困難を感じた
- ☐ 4. どちらともいえない
- ☐ 5. あまり困難に感じなかった
- ☐ 6. 困難に感じなかった
- ☐ 7. まったく困難に感じなかった

# Q11

あなたは、ご自身の好きになる性や出生時と異なる性で生きることを望むことについて、どなたかにカミングアウト（公表）したことはありますか。  
あてはまるものをすべてお答えください。

LGBT層のみに表示

- ☐ 1. 友人（LGBT・性的少数者に該当する人）
- ☐ 2. 友人（LGBT・性的少数者に該当しない人）
- ☐ 3. ネット上など面識のない友人（匿名）
- ☐ 4. ご自身の母親
- ☐ 5. ご自身の父親
- ☐ 6. 兄弟姉妹
- ☐ 7. ご自身のお子様
- ☐ 8. その他の親族
- ☐ 9. パートナー
- ☐ 10. 職場（同じ社内の上司・先輩・同僚）
- ☐ 11. 職場（同じ社内の部下・後輩）
- ☐ 12. 職場（取引先）
- ☐ 13. 職場の人事部門・相談窓口
- ☐ 14. 学校（教職員）
- ☐ 15. 学校の相談室（学生相談室等）
- ☐ 16. 医師・心理カウンセラーなどの医療・福祉関係者
- ☐ 17. 行政や公的機関の相談窓口
- ☐ 18. 行政や公的機関サービスの手続き窓口
- ☐ 19. LGBT支援団体や専門相談窓口
- ☐ 20. その他行政・公的関係者
- ☐ 21. その他【FA】
- ☐ 22. 誰にもカミングアウト（公表）していない

**Q12**

前問で「誰にもカミングアウトしていない」とお答えの方にお伺いいたします。  
 あなたは今後カミングアウトしたいと思いますか。  
 それぞれの項目ごとにお気持ちの近いものをお選びください。

LGBT層のみに表示

## 項目リスト

- |                                     |    |                       |
|-------------------------------------|----|-----------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | 友人（LGBT・性的少数者に該当する人）  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | 友人（LGBT・性的少数者に該当しない人） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | 行政・公的機関等              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | 家族(親・兄弟姉妹・子ども・親戚)     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | 職場・学校                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | ネット上など面識のない友人（匿名）     |

## 選択肢リスト

- |                       |                                     |    |                      |
|-----------------------|-------------------------------------|----|----------------------|
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | とてもカミングアウト（公表）したい    |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | カミングアウト（公表）したい       |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | ややカミングアウト（公表）したい     |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | どちらともいえない            |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | あまりカミングアウト（公表）したくない  |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | カミングアウト（公表）したくない     |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 7. | まったくカミングアウト（公表）したくない |

**Q13**

前問で""カミングアウト（公表）したくない""とお答えの方にお伺いします。  
 カミングアウトしたくない理由をそれぞれの項目ごとにお答えください。

LGBT層のみに表示

- |                                     |    |                                |
|-------------------------------------|----|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | 友人（LGBT・性的少数者に該当する人） 具体的に【FA】  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | 友人（LGBT・性的少数者に該当しない人） 具体的に【FA】 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | 行政・公的機関等 具体的に【FA】              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | 家族(親・兄弟姉妹・子ども・親戚) 具体的に【FA】     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | 職場・学校 具体的に【FA】                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | ネット上など面識のない友人（匿名） 具体的に【FA】     |

# Q14

あなたは、次に挙げる言葉遣いや行動をしたことはありますか。  
あてはまるものをすべてお答えください。

- |                          |     |                                                   |
|--------------------------|-----|---------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1.  | 女性同性愛者を「レズ」と呼ぶこと                                  |
| <input type="checkbox"/> | 2.  | 男性同性愛者を「ホモ」「おかま」と呼ぶこと                             |
| <input type="checkbox"/> | 3.  | 男性同性愛者を「オネエ」と呼ぶこと                                 |
| <input type="checkbox"/> | 4.  | LGBT・性的少数者を「おとこおんな」「おんなおとこ」と呼ぶこと                  |
| <input type="checkbox"/> | 5.  | 他人の性のあり方を、詮索したり、噂話したりすること                         |
| <input type="checkbox"/> | 6.  | 他人の性のあり方を、許可なく第三者に暴露すること                          |
| <input type="checkbox"/> | 7.  | 他人に性のあり方のカミングアウト(公表)を強要すること                       |
| <input type="checkbox"/> | 8.  | 自分は「普通」「ノーマル」だと相手に告げること                           |
| <input type="checkbox"/> | 9.  | 忘年会や飲み会などの宴席で、同性同士のキスなどを笑いやネタにすること                |
| <input type="checkbox"/> | 10. | 「結婚しないのか」と聞くこと                                    |
| <input type="checkbox"/> | 11. | 男らしさ・女らしさを求めること（例、「男なんだから～しなさい」「女なんだから～しなさい」など）   |
| <input type="checkbox"/> | 12. | 男性を「くん」づけ、女性を「さん」づけで呼ぶこと                          |
| <input type="checkbox"/> | 13. | 結婚している男性を「旦那様」、女性を「奥様」と呼ぶこと                       |
| <input type="checkbox"/> | 14. | 相手の性別を確認するとき「女性ですか」「男性ですか」と二択で聞くこと                |
| <input type="checkbox"/> | 15. | トランスジェンダー(出生時の性別に違和を感じる方)が、望む性別のトイレを利用することを注意すること |
| <input type="checkbox"/> | 16. | 上記の行動はしたことはない                                     |

# Q15

次に挙げる言葉遣いや行動、また状態について、あなたは「差別的」だと思いますか。  
お気持ちに近いものをお答えください。

## 項目リスト

- ☒ 1. 女性同性愛者を「レズ」と呼ぶこと
- ☒ 2. 男性同性愛者を「ホモ」「おかま」と呼ぶこと
- ☒ 3. 男性同性愛者を「オネエ」と呼ぶこと
- ☒ 4. LGBT・性的少数者を「おとこおんな」「おんなおとこ」と呼ぶこと
- ☒ 5. 他人の性のあり方を、詮索したり、噂話したりすること
- ☒ 6. 他人の性のあり方を、許可なく第三者に暴露すること
- ☒ 7. 他人に性のあり方のカミングアウト(公表)を強要すること
- ☒ 8. 自分は「普通」「ノーマル」だと相手に告げること
- ☒ 9. 忘年会や飲み会などの宴席で、同性同士のキスなどを笑いやネタにすること
- ☒ 10. 「結婚しないのか」と聞くこと
- ☒ 11. 男らしさ・女らしさを求めること（例、「男なんだから～しなさい」「女なんだから～しなさい」など）
- ☒ 12. 教育の場で男性に「くん」づけ、女性に「さん」づけするなど、呼称を変えること
- ☒ 13. 公の場で「奥様」「旦那様」など性差で、相手の呼称を変えること
- ☒ 14. 性別記入欄・確認欄で「男性」「女性」の選択肢しかないこと
- ☒ 15. トランスジェンダー(出生時の性別に違和を感じる方)が望む性別のトイレを利用できないこと

## 選択肢リスト

- ☐ 1. とても差別的だと思う
- ☐ 2. 差別的だと思う
- ☐ 3. やや差別的だと思う
- ☐ 4. どちらともいえない
- ☐ 5. あまり差別的だと思わない
- ☐ 6. 差別的だと思わない
- ☐ 7. まったく差別的だと思わない

## Q16

あなたは、以下の項目についてどの程度あてはまりますか。  
お気持ちに近いものをお選びください。  
※あなたご自身の個人的な意見としてお答えください。

非LGBT層のみに表示

## 項目リスト

- |                                     |     |                                               |
|-------------------------------------|-----|-----------------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1.  | LGBT・性的少数者に対して、理解をしている                        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2.  | LGBT・性的少数者に対して、支援をしている（したいと思う）                |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3.  | LGBT・性的少数者に対して、抵抗感や嫌悪感を抱く                     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4.  | LGBT・性的少数者に対して、誤解や偏見が多いと思う                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5.  | LGBT・性的少数者に対して、理解が促進されるべきだと思う                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6.  | LGBT・性的少数者に対して、どう接していいのか分からない                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7.  | LGBT・性的少数者に対して、カミングアウト(公表)して欲しい               |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 8.  | LGBT・性的少数者に対して、どの様な配慮が必要か分からない                |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 9.  | LGBT・性的少数者に対して、何が差別として捉えられるか分からない             |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 10. | LGBT・性的少数者に対して、国や地方自治体の対応は必要だと思う              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 11. | LGBT・性的少数者に対して、企業の対応は必要だと思う                   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 12. | LGBT・性的少数者に対して、差別を禁止するべきだと思う                  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 13. | LGBT・性的少数者からカミングアウト(公表)されても、される前と変わらず接せられると思う |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 14. | 異性間と等しく同性同士が婚姻関係を結べる「同性婚」は必要だと思う              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 15. | 「同性婚」が無くても、LGBT・性的少数者にも、婚姻関係と同等な権利は必要だと思う     |

## 選択肢リスト

- |                       |                                     |    |            |
|-----------------------|-------------------------------------|----|------------|
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | とてもあてはまる   |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | あてはまる      |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | ややあてはまる    |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | どちらともいえない  |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | あまりあてはまらない |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | あてはまらない    |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 7. | 全くあてはまらない  |

**Q17**

あなたの職場や学校・お住まいの地域では、現在何らかのLGBT・性的少数者向けの施策をしていますか。（いくつでも）

## 項目リスト

- 1. 職場・学校
- 2. お住まいの地域

## 選択肢リスト

- ☐ 1. LGBT・性的少数者に関する研修や啓発活動
- ☐ 2. LGBT・性的少数者に関する相談窓口（対面式などのリアルな窓口）の設置
- ☐ 3. LGBT・性的少数者に関する相談窓口（電話）の設置
- ☐ 4. LGBT・性的少数者に関する相談窓口（ネット上）の設置
- ☐ 5. LGBT・性的少数者に対する差別禁止の宣言・明文化
- ☐ 6. 同性パートナーに対する福利厚生の平等化
- ☐ 7. 性同一性障害を含むトランスジェンダーへのサポート
- ☐ 8. LGBT・性的少数者に関するイベントへの協賛・支援
- ☐ 9. LGBT・性的少数者に対する支援グループの組成・運営
- ☐ 10. LGBT・性的少数者に対するサービスや商品の提供
- ☐ 11. 上記以外の取り組み
- ☐ 12. LGBT・性的少数者向けの施策はしていない

**Q18**

あなたは学校や教育現場でのLGBT・性的少数者に対する取り組みとしてそれぞれの程度必要だと思いますか。  
お気持ちに近いものをお答えください。

## 項目リスト

|                                     |     |                             |
|-------------------------------------|-----|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1.  | トランスジェンダーに配慮したトイレの設置        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2.  | トランスジェンダーに配慮した更衣室の設置        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3.  | 戸籍性による男女別名簿の廃止              |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4.  | 望む性の制服・服装の着用を許可すること         |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5.  | 戸籍性による髪型の規定廃止               |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6.  | 望む性の水着の着用を許可すること            |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7.  | 保健体育の授業でLGBT・性的少数者についての知識教育 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 8.  | 道徳の授業でLGBT・性的少数者についての知識教育   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 9.  | LGBT・性的少数者についての講演会の実施       |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 10. | 図書館に関連図書を置く                 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 11. | 相談室の設置                      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 12. | 教員に対する理解増進教育                |

## 選択肢リスト

|                       |                                     |    |           |
|-----------------------|-------------------------------------|----|-----------|
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | とても必要     |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | 必要        |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | やや必要      |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | どちらともいえない |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | あまり必要ない   |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | 必要ない      |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 7. | 全く必要ない    |



**Q19**

あなたは職場でのLGBT・性的少数者に対しての取り組みとしてそれぞれの程度必要だと思いますか。  
お気持ちに近いものをお答えください。

## 項目リスト

- |                                     |    |                             |
|-------------------------------------|----|-----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | LGBT・性的少数者に関する正しい理解の啓発、研修教育 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | LGBT・性的少数者に対する差別を禁止する規定の制定  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | LGBT・性的少数者に対する支援に関する規定の制定   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | 同性パートナーシップ制度                |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | 相談窓口の設置                     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | 当事者同士の交流・情報交換の場             |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7. | トランスジェンダーに配慮した設備の整備         |

## 選択肢リスト

- |                       |                                     |    |           |
|-----------------------|-------------------------------------|----|-----------|
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 1. | とても必要     |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. | 必要        |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 3. | やや必要      |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 4. | どちらともいえない |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 5. | あまり必要ない   |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 6. | 必要ない      |
| <input type="radio"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 7. | 全く必要ない    |

## Q20

あなたがお住まいの自治体で、LGBT・性的少数者に対する取り組み・施策としてそれぞれの程度必要だと思いますか。  
お気持ちに近いものをお答えください。

### 項目リスト

|                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1. トランスジェンダーに配慮したトイレの設置               |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2. トランスジェンダーに配慮した更衣室の設置               |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. トランスジェンダーに配慮した公衆浴場やシャワールームの設置      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4. LGBT・性的少数者に対する差別を禁止する規定の制定（条例・要綱等） |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. LGBT・性的少数者に対する支援に関する規定の制定（条例・要綱等）  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6. 同性パートナーシップ制度                       |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7. 窓口対応する職員の研修・教育                     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 8. トランスジェンダーに配慮した申請書類の性別記入欄に変更する      |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 9. LGBT・性的少数者に配慮した体制                  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 10. 区役所などの対面式の相談窓口                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 11. 電話での相談窓口                          |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 12. SNSなどネット上の相談窓口                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 13. セーフティネットとなるコミュニティスペースの確保          |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 14. 民間企業との協働企画イベント                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 15. 大学などと連携した就職支援制度                   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 16. 講演会・研修会の開催                        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 17. 区報、ホームページでの情報発信                   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 18. SNSでの情報発信                         |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 19. パンフレットの作成                         |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 20. 関連イベントの開催                         |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 21. 教育・啓発教材の作成                        |

### 選択肢リスト

|                       |              |
|-----------------------|--------------|
| <input type="radio"/> | 1. とても必要     |
| <input type="radio"/> | 2. 必要        |
| <input type="radio"/> | 3. やや必要      |
| <input type="radio"/> | 4. どちらともいえない |
| <input type="radio"/> | 5. あまり必要ない   |
| <input type="radio"/> | 6. 必要ない      |
| <input type="radio"/> | 7. 全く必要ない    |

## Q21

ご自身が望む性のあり方で生活するために、周囲に理解してほしいことはありますか？  
ご自由にお答えください。

LGBT層のみに表示

**性的マイノリティ当事者等に対する実態調査報告書**

印刷物登録番号(31)121号

発行日：令和2年3月

発行：江東区総務部男女共同参画推進センター  
〒135-0011 東京都江東区扇橋 3-22-2

TEL：03-5683-0341(代表)